

令和元年度
栃木県観光意向調査報告書の概要

令和2(2020)年3月

栃木県産業労働観光部 観光交流課

〔目次〕

調査の概要.....	1
1. 調査目的	1
2. 調査対象	1
3. 調査期間	1
4. 調査方法	1
I. 県内居住者の調査結果	3
1. 栃木県外への宿泊旅行（3年以内）	3
（1）宿泊旅行地域.....	3
（2）地域別訪問回数	4
2. 栃木県内への宿泊旅行（3年以内）	5
（1）全体	5
（2）宿泊エリア	5
（3）エリア別宿泊回数	6
（4）宿泊旅行をした理由	7
（5）宿泊旅行の同行者	8
（6）宿泊旅行時の交通手段	8
（7）宿泊旅行に関する情報入手方法.....	9
3. 旅行先として栃木県より魅力を感じる都県.....	10
4. 栃木県観光を勧めたい項目	11
5. 旅行に対する価値観	12
II. 近隣都県居住者の調査結果.....	13
1. 栃木県以外への宿泊旅行（3年以内）	13
（1）宿泊旅行地域.....	13
（2）地域別訪問回数	14
2. 栃木県への訪問（3年以内）	15
（1）栃木県への訪問の有無	15
（2）栃木県への日帰り・宿泊旅行の有無	15
（3）栃木県へ訪問しなかった理由	16
3. 栃木県への日帰り旅行（3年以内）	17
（1）日帰り旅行エリア	17
（2）日帰り旅行理由	18
（3）宿泊旅行ではなく、日帰り旅行を選んだ理由.....	18
（4）日帰り旅行の同行者	19
（5）日帰り旅行時の交通手段	19
（6）日帰り旅行に関する情報入手方法.....	20
（7）日帰り旅行の再訪意向	20

4. 栃木県への宿泊旅行（3年以内）	21
(1) 宿泊旅行エリア	21
(2) 宿泊旅行理由	22
(3) 他に訪問した都道府県	22
(4) 宿泊旅行の同行者	23
(5) 宿泊旅行時の交通手段	23
(6) 宿泊旅行に関する情報入手方法	24
(7) 宿泊旅行の再訪意向	24
5. 旅行先として栃木県より魅力を感じる都県	25
6. 栃木県の観光地のイメージ	26
7. 旅行に対する価値観	27
III. 遠方都市居住者の調査結果	28
1. 栃木県以外への宿泊旅行（3年以内）	28
(1) 宿泊旅行地域	28
(2) 地域別訪問回数	29
2. 栃木県への訪問（3年以内）	30
(1) 栃木県への訪問の有無	30
(2) 栃木県への日帰り・宿泊旅行の有無	30
(3) 栃木県へ訪問しなかった理由	31
3. 栃木県への日帰り旅行（3年以内）	32
(1) 日帰り旅行エリア	32
(2) 日帰り旅行理由	33
(3) 宿泊旅行ではなく、日帰り旅行を選んだ理由	33
(4) 日帰り旅行の同行者	34
(5) 日帰り旅行時の交通手段	34
(6) 日帰り旅行に関する情報入手方法	35
(7) 日帰り旅行の再訪意向	35
4. 栃木県への宿泊旅行（3年以内）	36
(1) 宿泊旅行エリア	36
(2) 宿泊旅行理由	37
(3) 他に訪問した都道府県	37
(4) 宿泊旅行の同行者	38
(5) 宿泊旅行時の交通手段	38
(6) 宿泊旅行に関する情報入手方法	39
(7) 宿泊旅行の再訪意向	39
5. 旅行先として栃木県より魅力を感じる都県	40
6. 栃木県の観光地のイメージ	41
7. 旅行に対する価値観	42

IV. 三調査の比較.....	43
1. 宿泊旅行地域.....	43
2. 本県への訪問、日帰り旅行と宿泊旅行の有無.....	44
3. 宿泊旅行を決めた理由	45
4. 旅行先として栃木県より魅力を感じる都県.....	46
5. 旅行の同行者.....	47
6. 旅行に関する情報入手方法	48
7. 旅行に対する価値観.....	49
8. 「栃木県観光を勧めたい項目」と「栃木県の観光地のイメージ」	50

調査の概要

1. 調査目的

栃木県内在住者、県外在住者のそれぞれの栃木県の観光に対する意向を把握し、今後の本県における観光振興計画を検討するための基礎資料とすることを目的とする。

2. 調査対象

(1) 県内居住者：1,000 サンプル（サンプルの内訳は以下のとおり）

	サンプル数		
	全体	男性	女性
全体	1,000	500	500
20代	138	36	102
30代	219	116	103
40代	219	116	103
50代	219	116	103
60代以上	205	116	89

(2) 近隣都県居住者：7 都県×200 サンプル＝1,400 サンプル
(東京都、福島県、茨城県、群馬県、埼玉県、千葉県、神奈川県)

(3) 遠方都市居住者：5 都市×200 サンプル＝1,000 サンプル
(札幌市、仙台市、名古屋市、大阪市、福岡市)

※「3年以内に観光目的の宿泊旅行をした」ことをサンプル抽出の前提条件とした。

3. 調査期間

令和元（2019）年 11 月 18 日～11 月 22 日

4. 調査方法

インターネットによる配信・回収

I. 県内居住者の調査結果

※調査対象

県内居住者：1,000 サンプル（サンプルの内訳は以下のとおり）

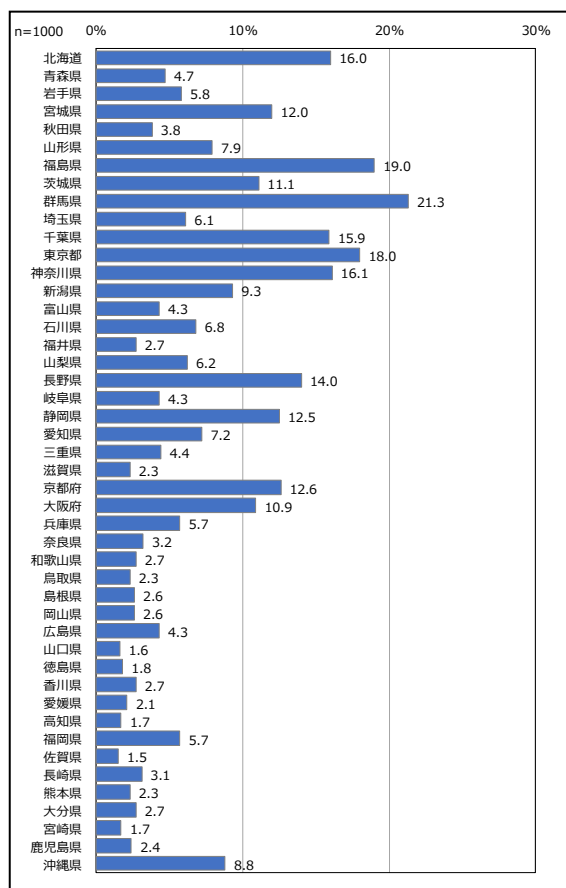
	サンプル数		
	全体	男性	女性
全体	1,000	500	500
20代	138	36	102
30代	219	116	103
40代	219	116	103
50代	219	116	103
60代以上	205	116	89

1. 栃木県外への宿泊旅行（3年以内）

（1）宿泊旅行地域

- ✧ 県外への宿泊旅行（3年以内）の地域をみると、「群馬県」が21.3%と最も多く、次いで「福島県」（19.0%）、「東京都」（18.0%）、「神奈川県」（16.1%）となっており、栃木県から近い地域が多い。
- ✧ 首都圏以北への旅行が多く、それ以外では「京都府」（12.6%）のほか「大阪府」（10.9%）、「沖縄県」（8.8%）など主要な観光地への旅行が中心となっている。

図 I-1-（1）. 県外への宿泊旅行地域（複数回答）

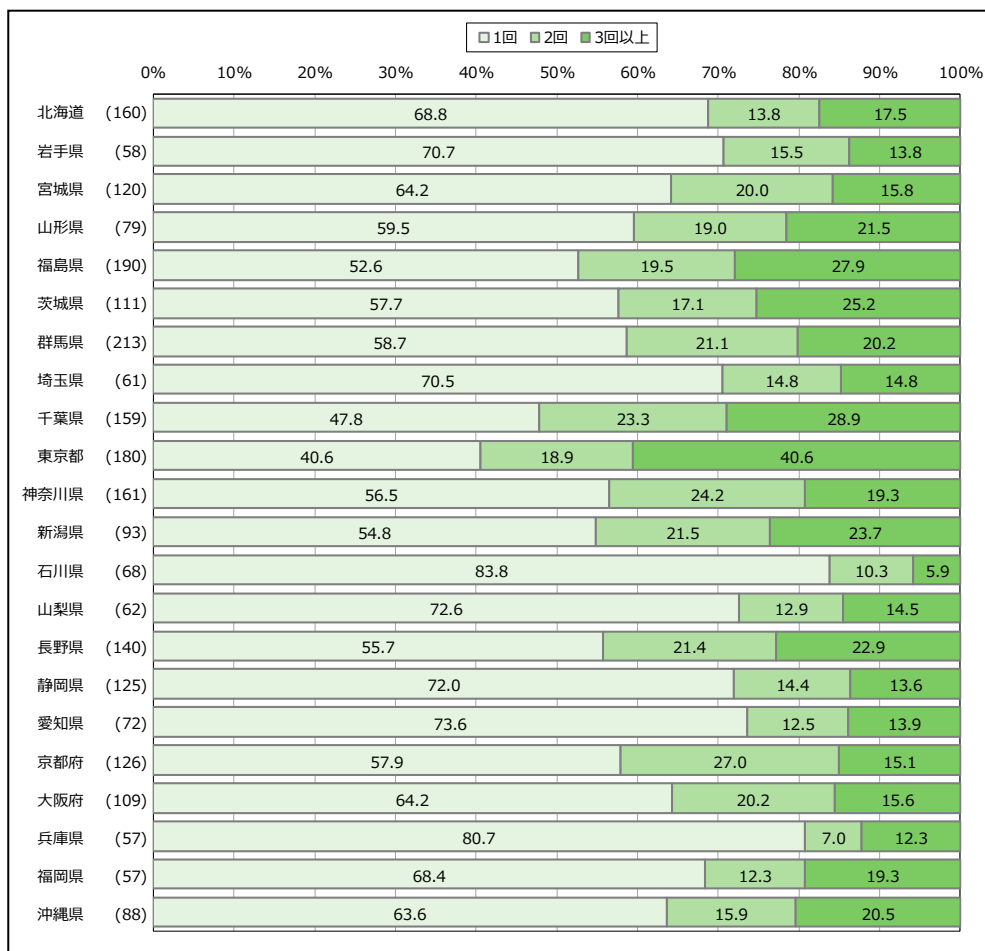


(2) 地域別訪問回数

✧ 訪問回数（3年以内）を「2回」と「3回以上」の合計でみると、「東京都」（59.5%）が最も多く、次いで「千葉県」（52.2%）、「福島県」（47.4%）、「新潟県」（45.2%）、「長野県」（44.3%）となっている。

✧ 「3回以上」でみると、「東京都」（40.6%）が最も多く、次いで「千葉県」（28.9%）、「福島県」（27.9%）、「茨城県」（25.2%）、「新潟県」（23.7%）が比較的多くなっている。

図 I-1-(2). 地域別訪問回数（n=50 以上）（単一回答）

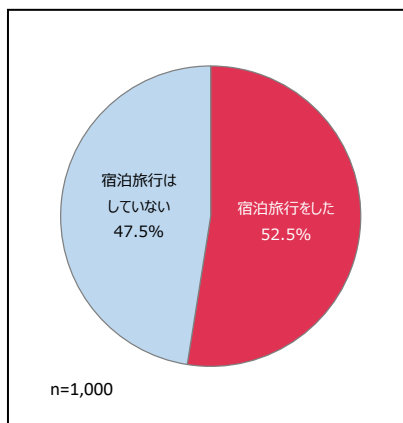


2. 栃木県内への宿泊旅行（3年以内）

（1）全体

☆ 県内への宿泊旅行（3年以内）は、「宿泊旅行をした」（52.5%）が「宿泊旅行はしていない」（47.5%）を上回った。

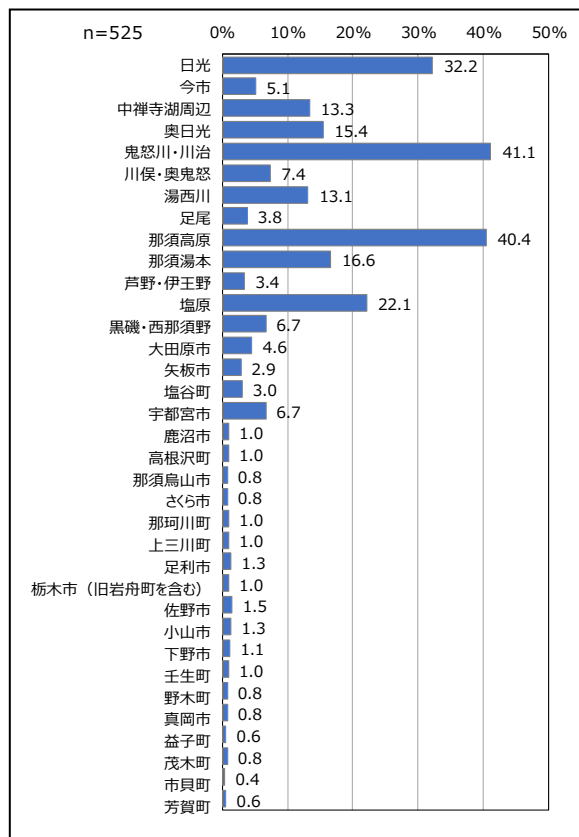
図 I-2-(1). 県内への宿泊旅行の有無（単一回答）



（2）宿泊エリア

☆ 県内への宿泊旅行（3年以内）エリアをみると、「鬼怒川・川治」（41.1%）が最も多く、次いで「那須高原」（40.4%）、「日光」（32.2%）、「塩原」（22.1%）となっており、温泉地への宿泊旅行が多くなっている。

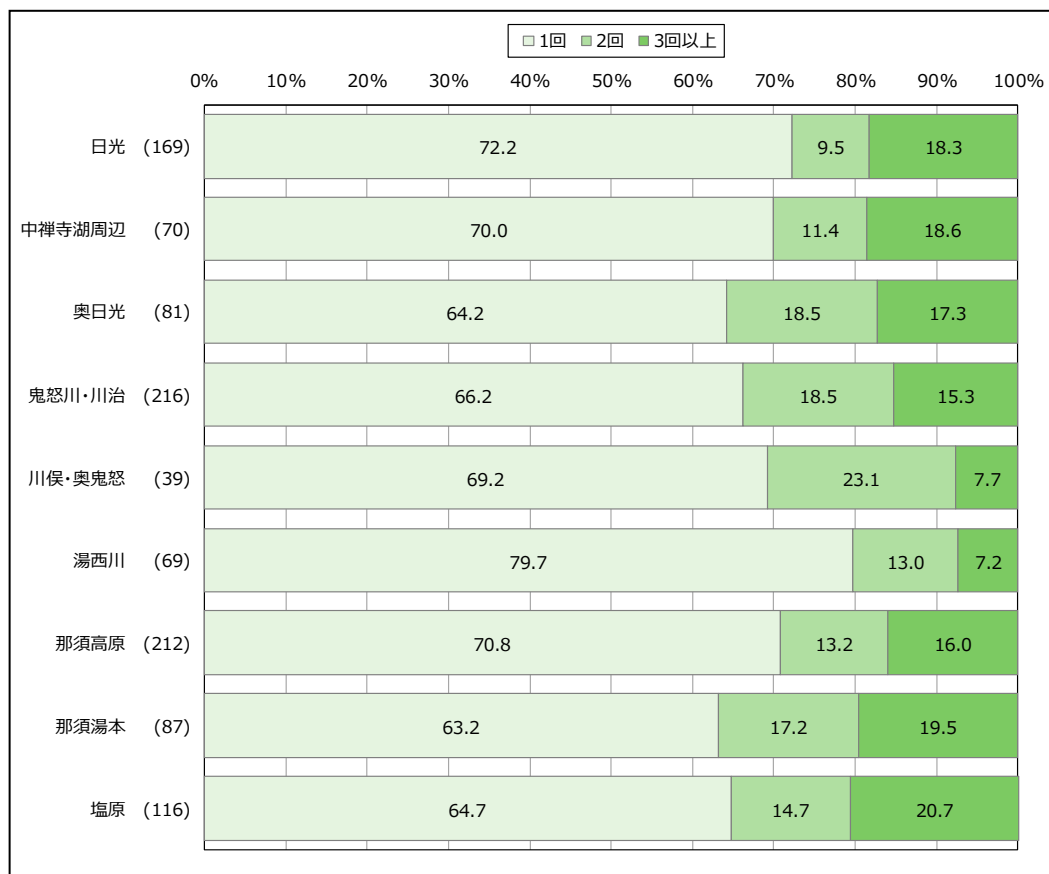
図 I-2-(2). 県内への宿泊旅行エリア（複数回答）



(3) エリア別宿泊回数

- ✧ エリア別の宿泊回数（3年以内）をみると、「那須湯本」が「2回」と「3回以上」の合計で36.7%と最も高く、次いで「奥日光」（35.8%）、「塩原」（35.4%）、「鬼怒川・川治」（33.8%）となっている。
- ✧ 「3回以上」でみると、「塩原」（20.7%）、「那須湯本」（19.5%）、「中禅寺湖周辺」（18.6%）が多くなっている。

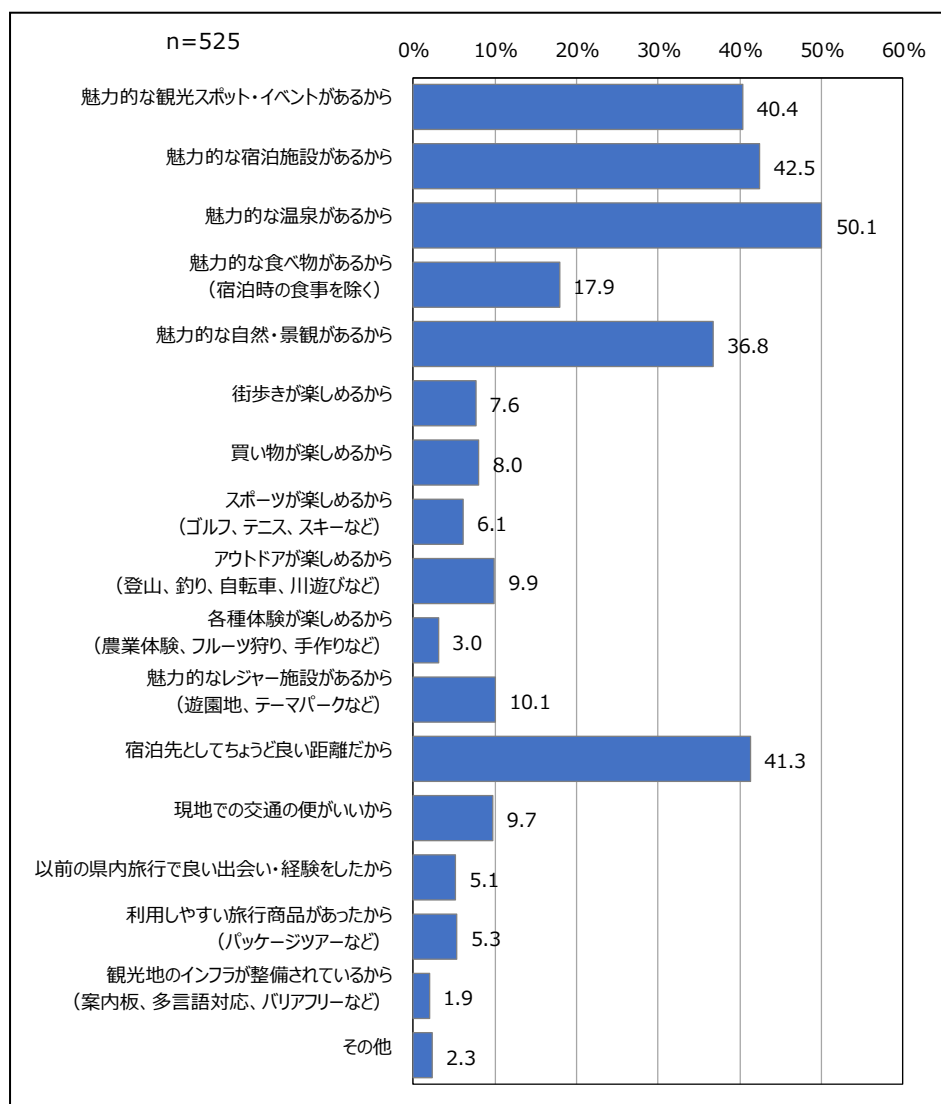
図 I-2-(3). エリア別宿泊旅行回数（n = 50 以上）（単一回答）



(4) 宿泊旅行をした理由

- ✧ 宿泊旅行先を栃木県内に決めた理由は、「魅力的な温泉があるから」(50.1%) が最も多く、次いで「魅力的な宿泊施設があるから」(42.5%)、「宿泊先としてちょうど良い距離だから」(41.3%)、「魅力的な観光スポット・イベントがあるから」(40.4%)、「魅力的な自然・景観があるから」(36.8%) となっている。
- ✧ 各種体験やスポーツなど体験型観光は低く、旅行先の観光スポット・イベントや自然・景観を楽しむこと、宿泊すること、温泉に入ることを重視する傾向にある。

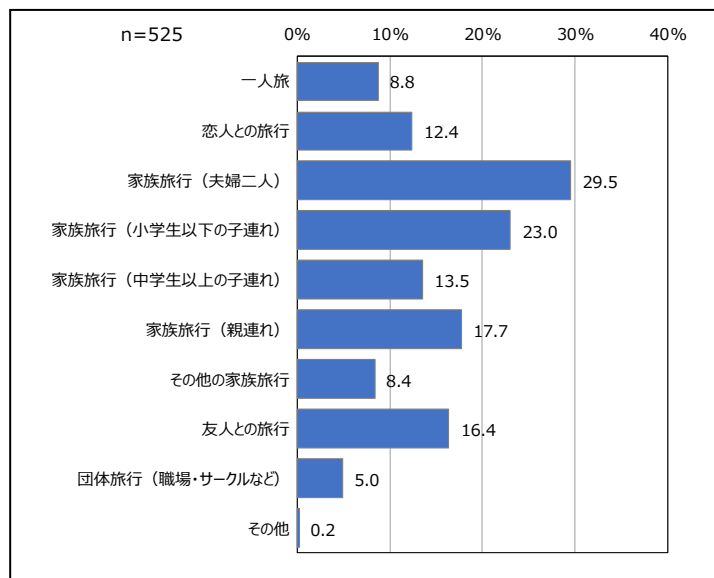
図 I -2-(4). 宿泊旅行をした理由 (複数回答)



(5) 宿泊旅行の同行者

☆ 宿泊旅行の同行者は、「家族旅行（夫婦二人）」（29.5%）が最も多く、次いで「家族旅行（小学生以下の子連れ）」（23.0%）、「家族旅行（親連れ）」（17.7%）、「友人との旅行」（16.4%）、「家族旅行（中学生以上の子連れ）」（13.5%）となっている。

図 I-2-(5). 宿泊旅行の同行者（複数回答）

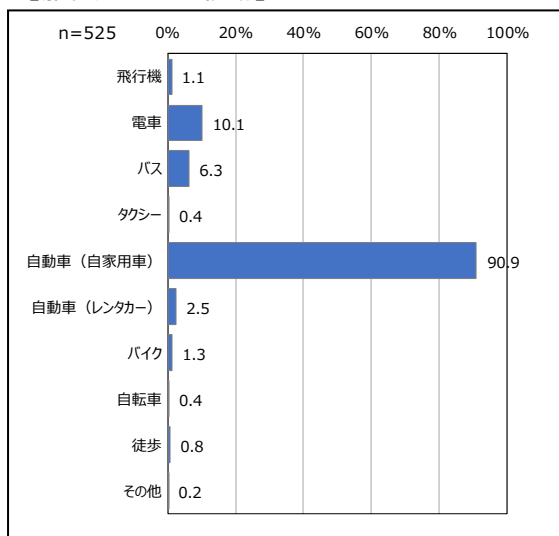


(6) 宿泊旅行時の交通手段

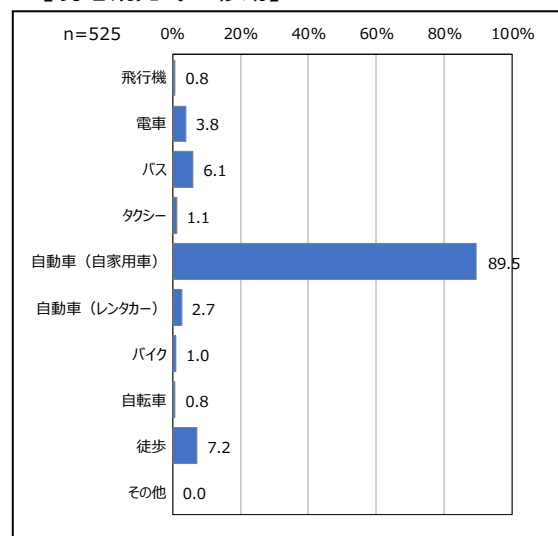
☆ 宿泊旅行時に用いた交通手段は、旅行先までの移動および現地観光時の移動のいずれも「自動車（自家用車）」が最も多く、約9割となっている。そのほか、旅行先までの移動では、「電車」（10.1%）や「バス」（6.3%）を利用している。現地観光時の移動では、「徒歩」（7.2%）や「バス」（6.1%）を利用している。

図 I-2-(6). 宿泊旅行時の交通手段（複数回答）

【旅行先までの移動】



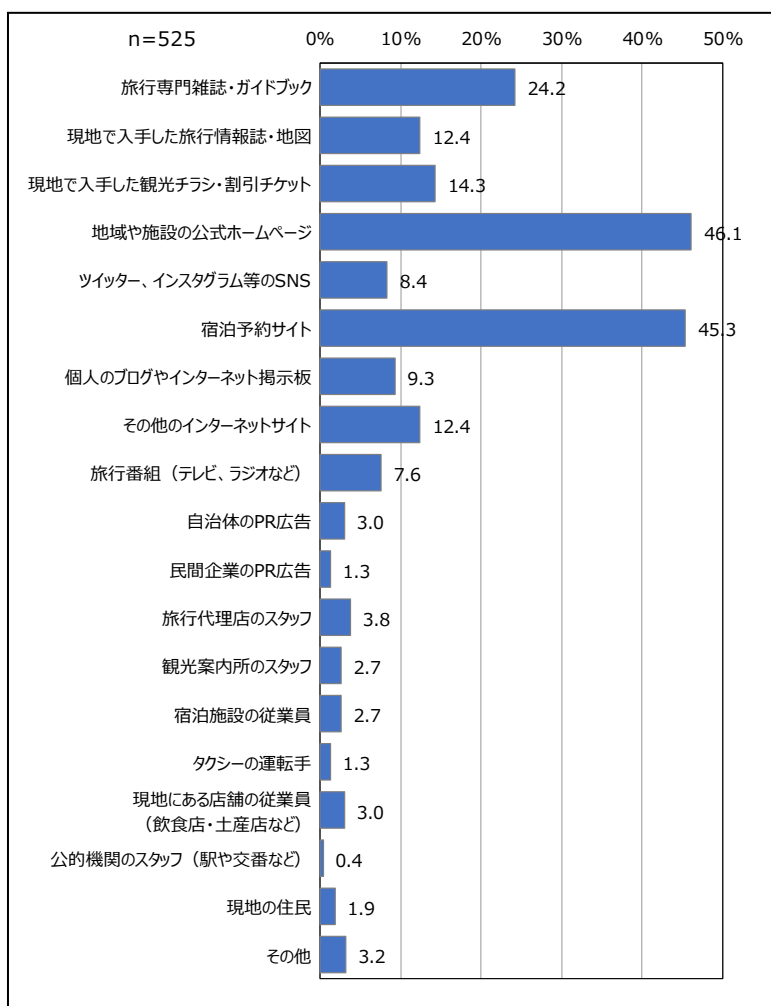
【現地観光時の移動】



(7) 宿泊旅行に関する情報入手方法

- ✧ 宿泊旅行に関する情報入手方法は、「地域や施設の公式ホームページ」(46.1%) が最も多く、次いで「宿泊予約サイト」(45.3%)、「旅行専門雑誌・ガイドブック」(24.2%)、「現地で入手した観光チラシ・割引チケット」(14.3%)、「現地で入手した旅行情報誌・地図」および「その他のインターネットサイト」(12.4%) となっている。
- ✧ 地域や施設の公式ホームページや宿泊予約サイトを中心としたインターネットサイトや、旅行専門雑誌などの書籍から事前に情報収集するほか、現地で入手できる情報誌やチラシにより地域の情報を得ていると考えられる。

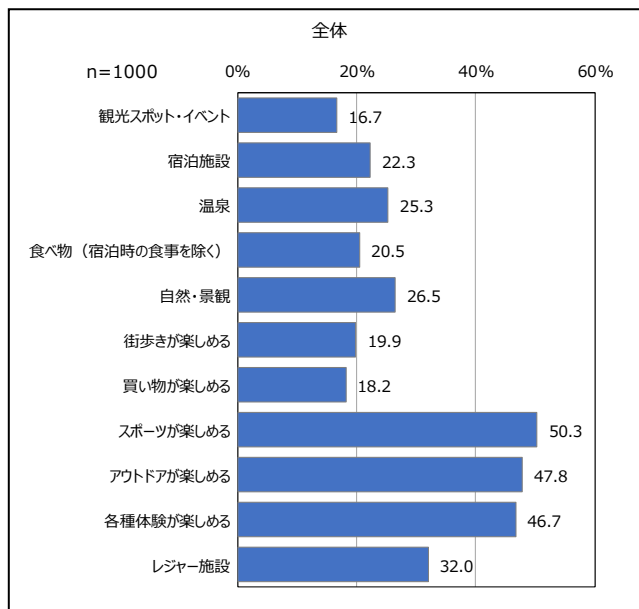
図 I-2-(7). 宿泊旅行に関する情報入手方法 (複数回答)



3. 旅行先として栃木県より魅力を感じる都県

☆ 他県に比べ栃木県が最も魅力的な項目を聞いたところ、「スポーツが楽しめる」(50.3%)が最も多く、次いで「アウトドアが楽しめる」(47.8%)、「各種体験が楽しめる」(46.7%)となっている。

図 I-3. 他県に比べ栃木県が最も魅力的な項目（全体、年代別）（単一回答）

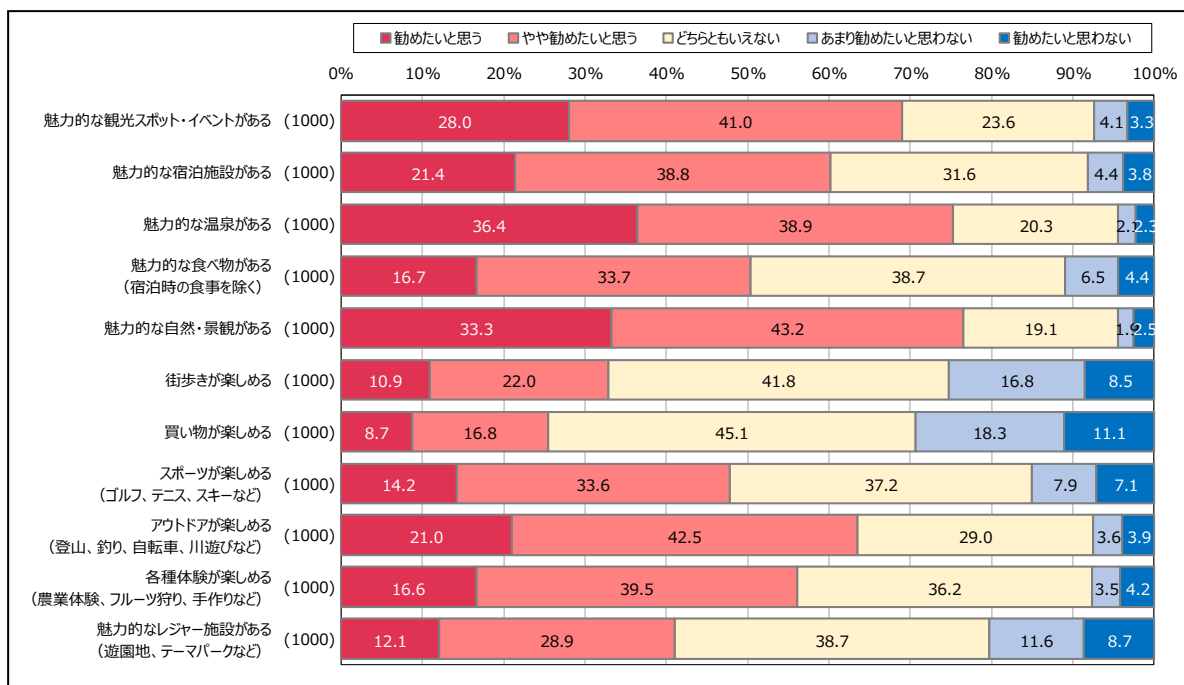


4. 栃木県観光を勧めたい項目

☆ 栃木県への観光を勧める場合に何を勧めたいかについて、「勧めたいと思う」と「やや勧めたいと思う」の合計でみると、「魅力的な自然・景観がある」が76.5%と最も多く、次いで「魅力的な温泉がある」(75.3%)、「魅力的な観光スポット・イベントがある」(69.0%)、「アウトドアが楽しめる」(63.5%)、「魅力的な宿泊施設がある」(60.2%)、「各種体験が楽しめる」(56.1%)、「魅力的な食べ物がある」(50.4%)、「スポーツが楽しめる」(47.8%)となっている。

☆ 一方、「勧めたいと思わない」と「あまり勧めたいと思わない」の合計でみると、「買い物を楽しめる」(29.4%)が最も多く、次いで「街歩きが楽しめる」(25.3%)、「魅力的なレジャー施設がある」(20.3%)となっている。

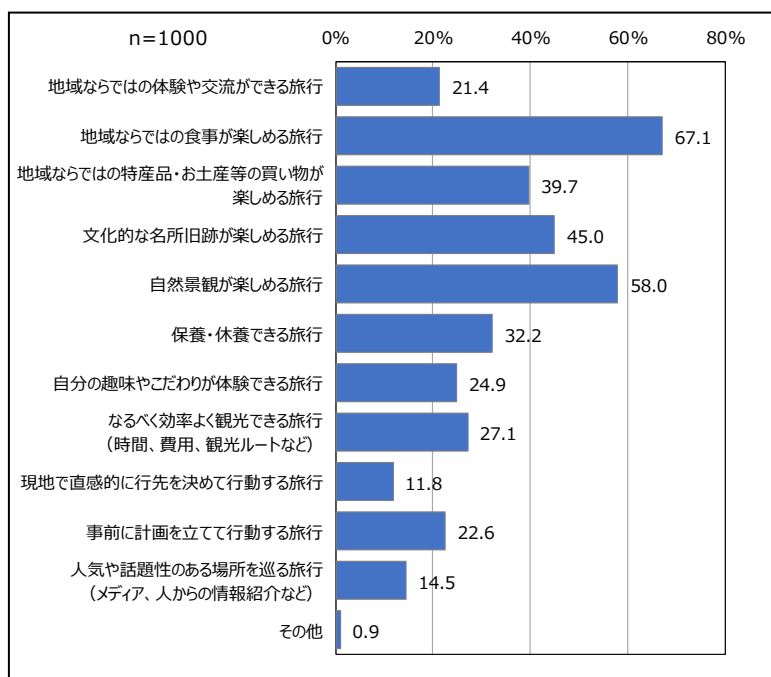
図 I -4. 栃木県観光を勧めたい項目（単一回答）



5. 旅行に対する価値観

- ✧ 旅行を検討する際にどのような旅行がしたいか、旅行に対する価値観を尋ねたところ、「地域ならではの食事が楽しめる旅行」(67.1%)が最も多く、次いで「自然景観が楽しめる旅行」(58.0%)、「文化的な名所旧跡が楽しめる旅行」(45.0%)、「地域ならではの特産品・お土産等の買い物が楽しめる旅行」(39.7%)、「保養・休養できる旅行」(32.2%)となっている。
- ✧ 地域ならではの食事や特産品を楽しみ、自然景観や文化的な名所旧跡に触れ、保養・休養できるような旅行をしたいと考える人が多い傾向にある。

図 I -5. 旅行に対する価値観（複数回答）



Ⅱ．近隣都県居住者の調査結果

※調査対象

近隣都県居住者：7 都県×200 サンプル＝1,400 サンプル

(東京都、福島県、茨城県、群馬県、埼玉県、千葉県、神奈川県)

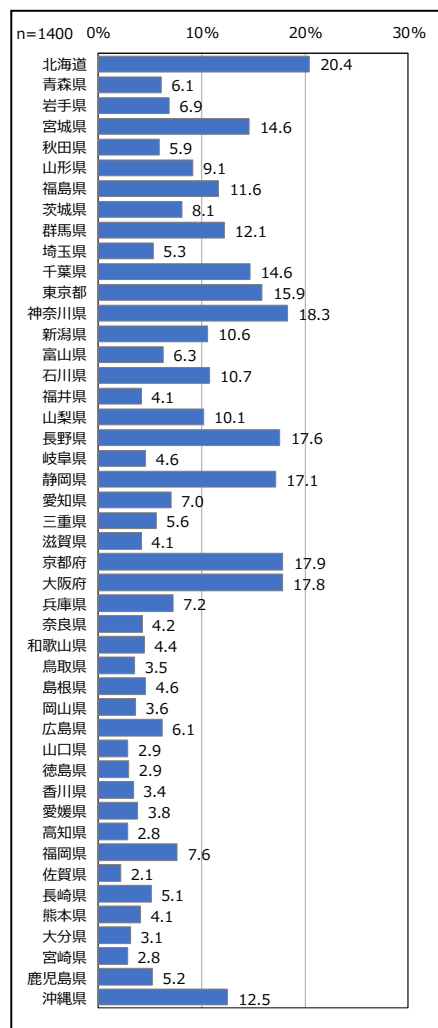
1. 栃木県以外への宿泊旅行（3 年以内）

(1) 宿泊旅行地域

◇ 栃木県以外への宿泊旅行（3 年以内）の地域をみると、「北海道」（20.4%）が最も多く、次いで「神奈川県」（18.3%）、「京都府」（17.9%）、「大阪府」（17.8%）、「長野県」（17.6%）、「静岡県」（17.1%）、「東京都」（15.9%）となっている。

図Ⅱ-1-(1). 栃木県以外への宿泊旅行地域（複数回答）

(注) 回答者が居住する都県は除く



(注) 今回の調査で近隣都県居住者とは、東京都、福島県、茨城県、群馬県、埼玉県、千葉県、神奈川県
の 7 都県の居住者のこと。

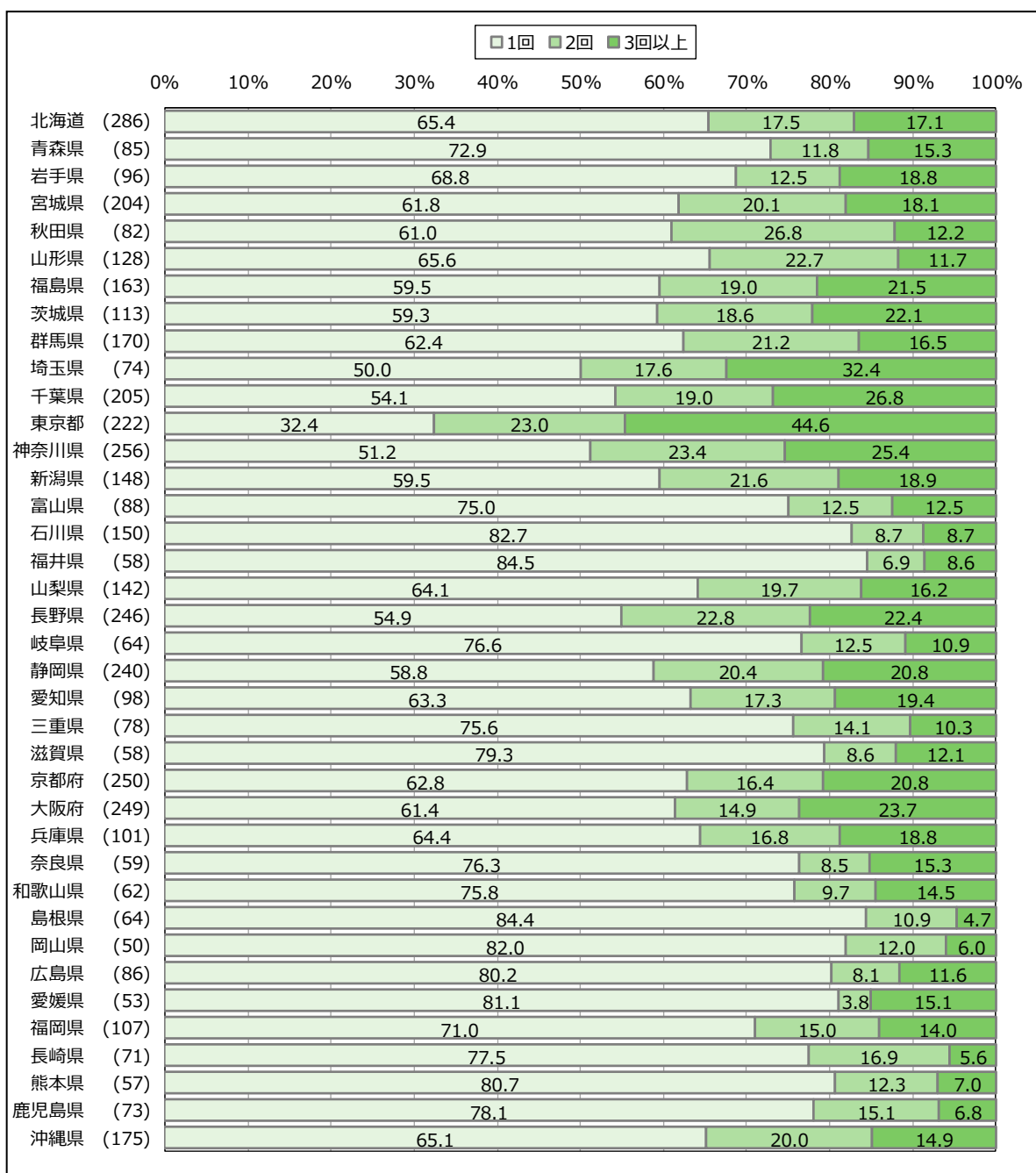
(2) 地域別訪問回数

✧ 栃木県以外への宿泊旅行（3年以内）の地域の訪問回数について、「2回」と「3回以上」の合計でみると、「東京都」が最も多く（67.6%）、次いで「埼玉県」（50.0%）、「神奈川県」（48.8%）、「千葉県」（45.8%）、「長野県」（45.2%）、「静岡県」（41.2%）、「茨城県」（40.7%）、「福島県」および「新潟県」（40.5%）となっている。

✧ 「3回以上」でみても「東京都」（44.6%）が最も多くなっており、「東京都」のリピーター率の高さが窺える。

図Ⅱ-1-(2). 地域別宿泊旅行回数（n=50以上）（単一回答）

（注）回答者が居住する都県は除く

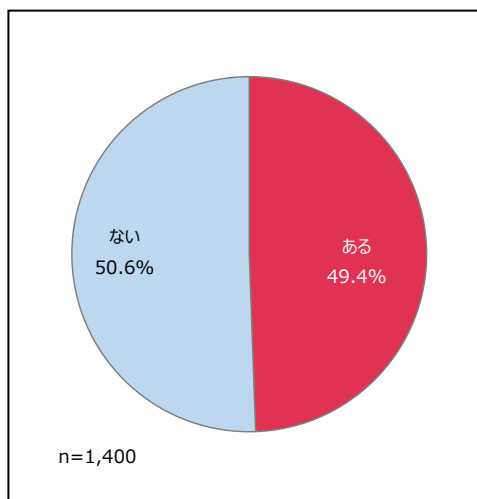


2. 栃木県への訪問（3年以内）

（1）栃木県への訪問の有無

☆ 栃木県への観光目的での訪問（3年以内）は、「ある」が 49.4%、「ない」が 50.6%となった。

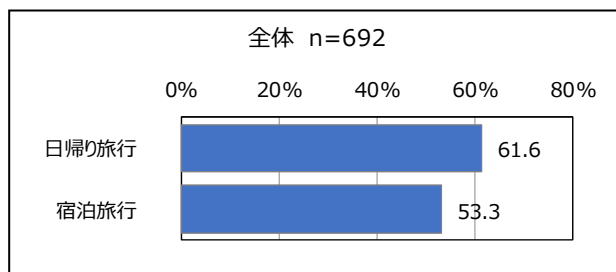
図Ⅱ-2-(1). 栃木県への訪問の有無（単一回答）



（2）栃木県への日帰り・宿泊旅行の有無

☆ 栃木県への日帰り旅行・宿泊旅行（3年以内）の有無は、「日帰り旅行」が 61.6%、「宿泊旅行」が 53.3%となった。

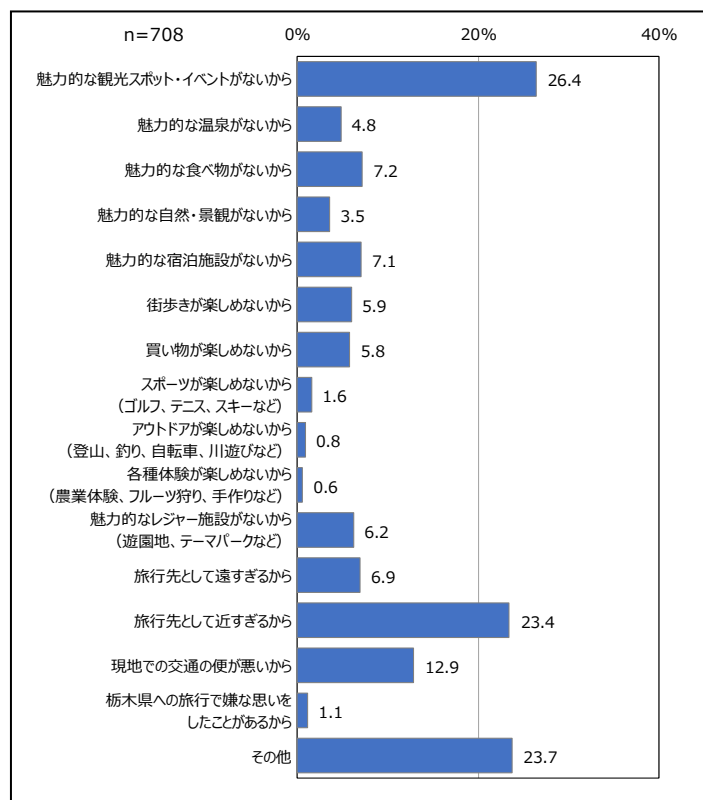
図Ⅱ-2-(2). 栃木県への日帰り旅行・宿泊旅行の有無（複数回答）



(3) 栃木県へ訪問しなかった理由

✧ 栃木県へ観光目的で訪問しなかった（3年以内）理由は、「魅力的な観光スポット・イベントがないから」（26.4%）が最も多く、次いで「旅行先として近すぎるから」（23.4%）、「現地での交通の便が悪いから」（12.9%）となっている。

図Ⅱ-2-(3). 栃木県へ訪問しなかった理由（複数回答）

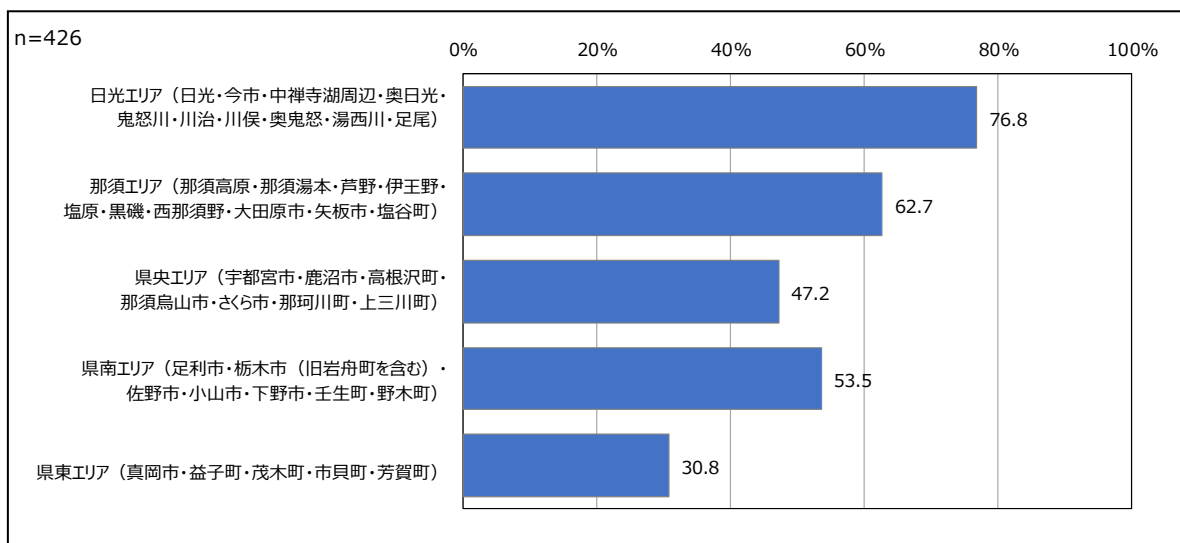


3. 栃木県への日帰り旅行（3年以内）

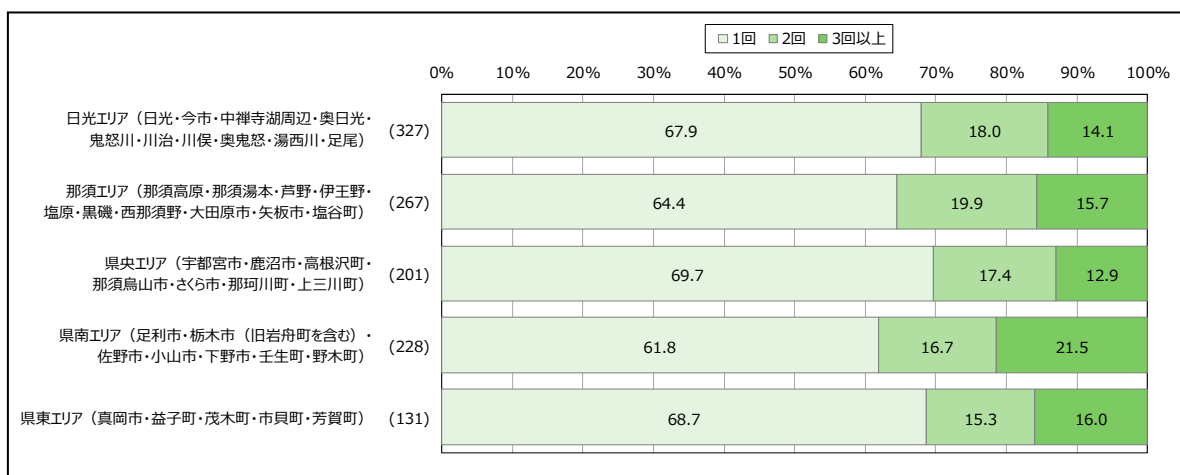
（1）日帰り旅行エリア

- ☆ 栃木県への日帰り旅行エリアをみると、「日光エリア」（76.8%）が最も多く、次いで「那須エリア」（62.7%）、「県南エリア」（53.5%）となっている。
- ☆ エリア別の日帰り旅行の回数について、「2回」と「3回以上」の合計でみると、「県南エリア」（38.2%）と「那須エリア」（35.6%）が多くなっている。

図Ⅱ-3-(1)-7. 日帰り旅行のエリア（複数回答）



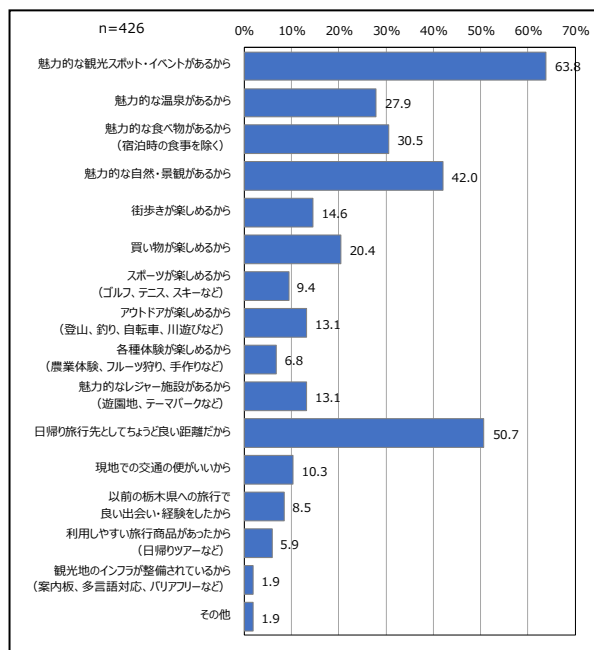
図Ⅱ-3-(1)-1. 日帰り旅行のエリア（回数）（単一回答）



(2) 日帰り旅行理由

☆ 栃木県への日帰り旅行をした理由は、「魅力的な観光スポット・イベントがあるから」(63.8%)が最も多く、次いで「日帰り旅行先としてちょうど良い距離だから」(50.7%)、「魅力的な自然・景観があるから」(42.0%)、「魅力的な食べ物があるから」(30.5%)、「魅力的な温泉があるから」(27.9%)となっている。

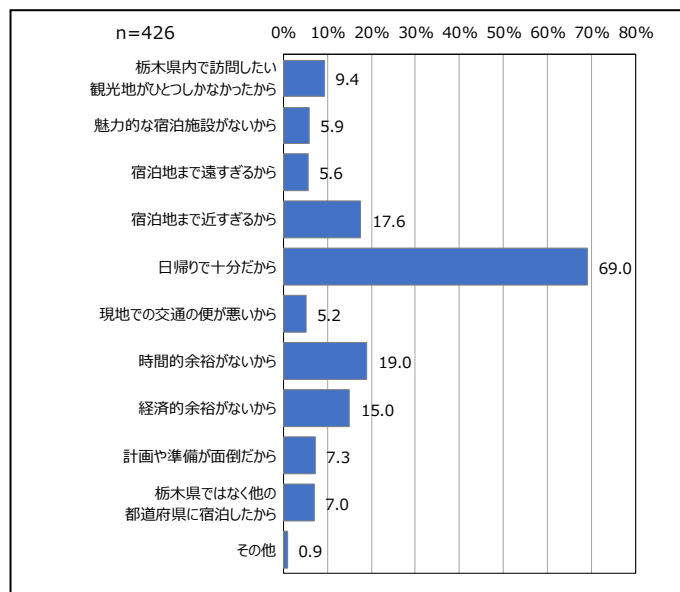
図Ⅱ-3-(2). 栃木県への日帰り旅行をした理由（複数回答）



(3) 宿泊旅行ではなく、日帰り旅行を選んだ理由

☆ 宿泊旅行ではなく、日帰り旅行を選んだ理由は、「日帰りで十分だから」(69.0%)が最も多く、次いで「時間的余裕がないから」(19.0%)、「宿泊地まで近すぎるから」(17.6%)となっている。

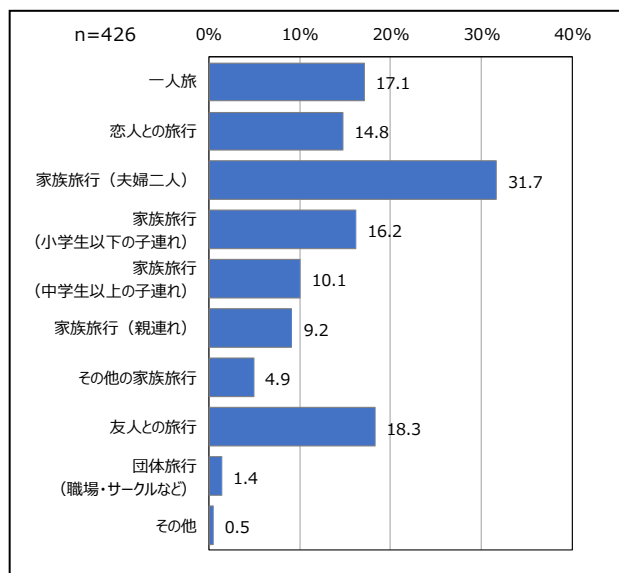
図Ⅱ-3-(3). 日帰り旅行を選んだ理由（複数回答）



(4) 日帰り旅行の同行者

◇ 日帰り旅行の同行者は、「家族旅行（夫婦二人）」（31.7%）が最も多く、次いで「友人との旅行」（18.3%）、「一人旅」（17.1%）、「家族旅行（小学生以下の子連れ）」（16.2%）、「恋人との旅行」（14.8%）となっている。

図Ⅱ-3-(4). 日帰り旅行の同行者（複数回答）

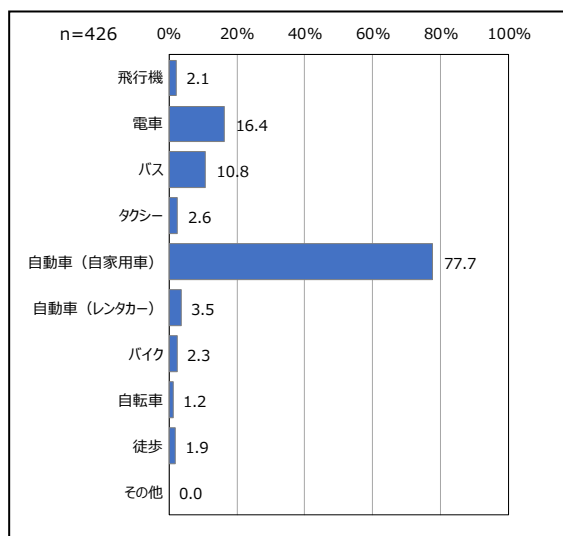


(5) 日帰り旅行時の交通手段

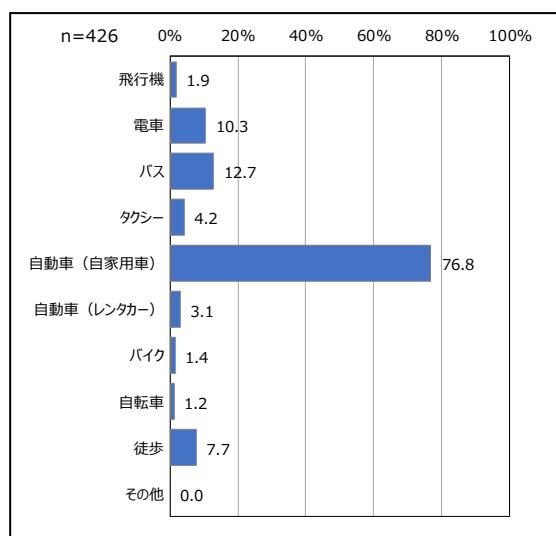
◇ 日帰り旅行時に用いた交通手段は、旅行先までの移動および現地観光時の移動のいずれも「自動車（自家用車）」が最も多くなっており、7割を超えている。そのほか、旅行先までの移動では、「電車」（16.4%）や「バス」（10.8%）を利用している。現地観光時の移動では、「バス」（12.7%）や「電車」（10.3%）、「徒歩」（7.7%）を利用している。

図Ⅱ-3-(5). 日帰り旅行時の交通手段（複数回答）

【旅行先までの移動】



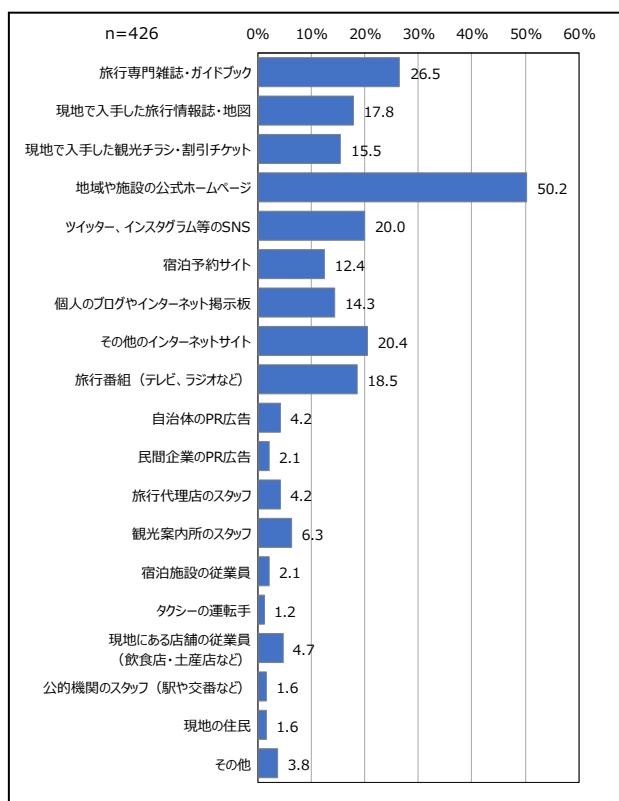
【現地観光時の移動】



(6) 日帰り旅行に関する情報入手方法

- ✧ 日帰り旅行に関する情報入手方法は、「地域や施設の公式ホームページ」(50.2%) が最も多く、次いで「旅行専門雑誌・ガイドブック」(26.5%)、「その他のインターネットサイト」(20.4%)、「ツイッター、インスタグラム等のSNS」(20.0%)、「旅行番組 (テレビ、ラジオなど)」(18.5%) となっている。
- ✧ 地域や施設の公式ホームページや SNS などのインターネットや、旅行専門雑誌などの書籍から情報を得ているほか、旅行番組などメディアを通じた情報も参考にしていると考えられる。

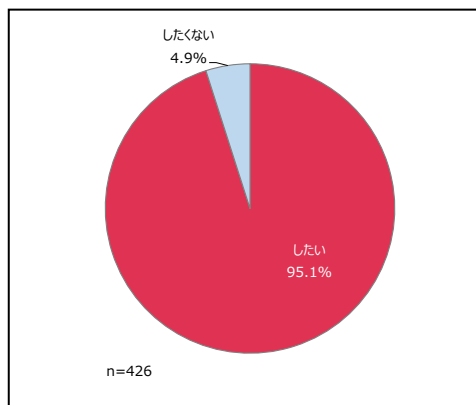
図Ⅱ-3-(6). 日帰り旅行に関する情報入手方法 (複数回答)



(7) 日帰り旅行の再訪意向

- ✧ 栃木県への日帰り旅行の経験がある方の再訪意向 (日帰り旅行) は、「したい」が 95.1% と非常に多くなっている。

図Ⅱ-3-(7). 日帰り旅行の再訪意向 (単一回答)

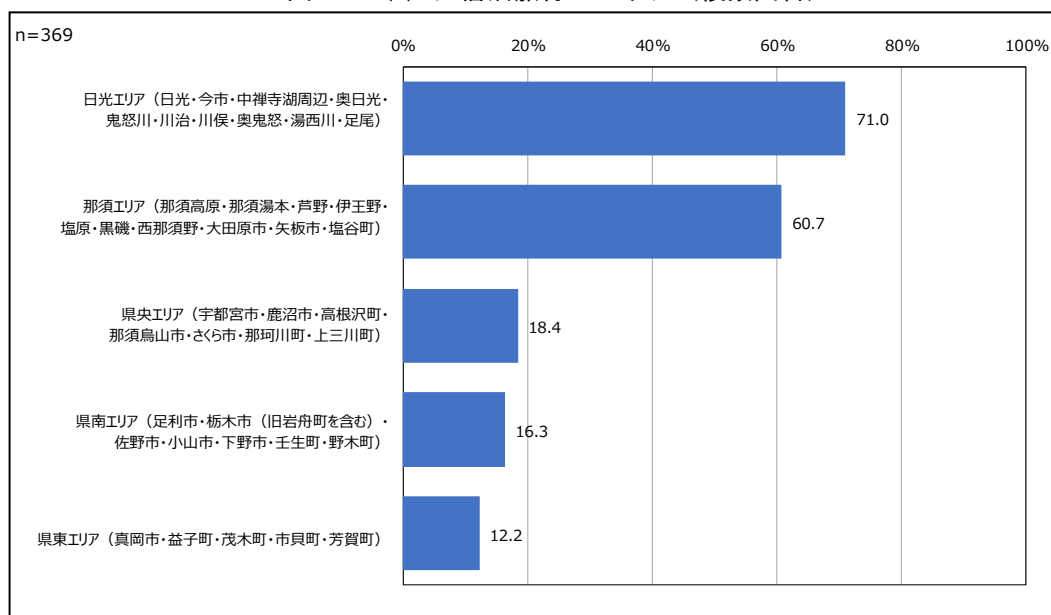


4. 栃木県への宿泊旅行（3年以内）

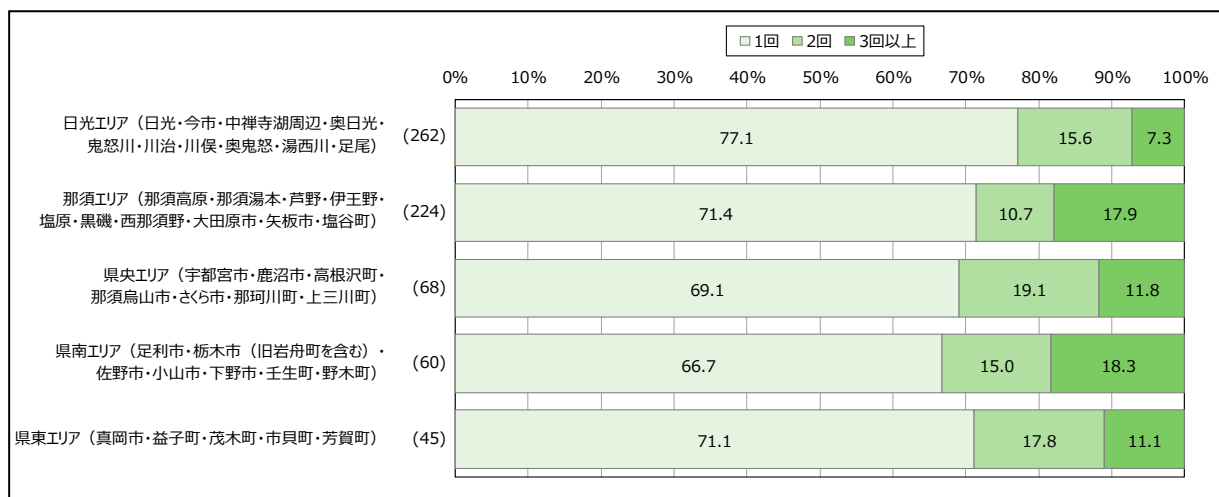
（1）宿泊旅行エリア

- ✧ 栃木県への宿泊旅行エリアをみると、圧倒的に「日光エリア」（71.0%）、「那須エリア」（60.7%）が多くなっている。
- ✧ エリア別の宿泊旅行の回数について、「2回」と「3回以上」の合計でみると、「県南エリア」（33.3%）と「県央エリア」（30.9%）が多くなっている。

図Ⅱ-4-(1)-ア. 宿泊旅行のエリア（複数回答）



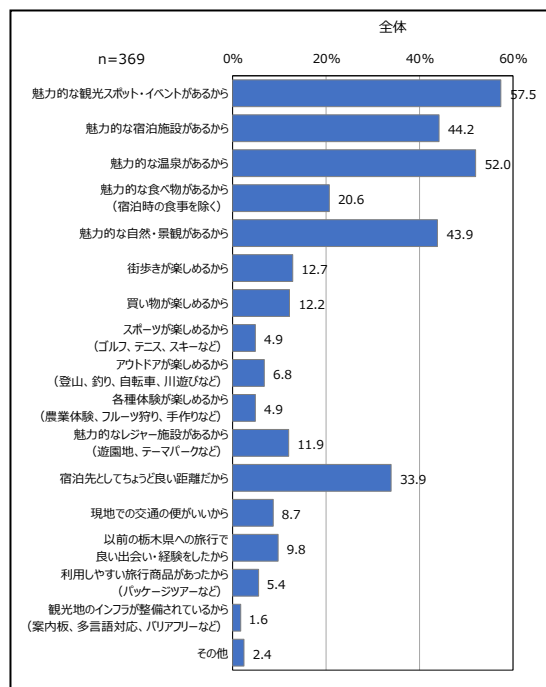
図Ⅱ-4-(1)-イ. 宿泊旅行のエリア（回数）（単一回答）



(2) 宿泊旅行理由

✧ 栃木県への宿泊旅行を決めた理由は、「魅力的な観光スポット・イベントがあるから」(57.5%)が最も多く、次いで「魅力的な温泉があるから」(52.0%)、「魅力的な宿泊施設があるから」(44.2%)、「魅力的な自然・景観があるから」(43.9%)、「宿泊先としてちょうど良い距離だから」(33.9%)となっている。

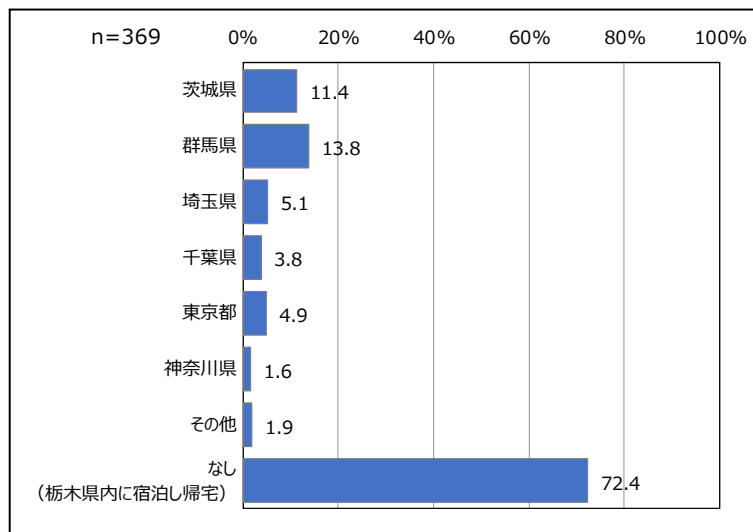
図Ⅱ-4-(2). 栃木県への宿泊旅行を決めた理由（複数回答）



(3) 他に訪問した都道府県

✧ 栃木県への宿泊旅行時に他に訪問した都道府県について尋ねたところ、「なし（栃木県内に宿泊し帰宅）」が72.4%と最も多く、訪問した場合は「群馬県」(13.8%)と「茨城県」(11.4%)が多くなっている。

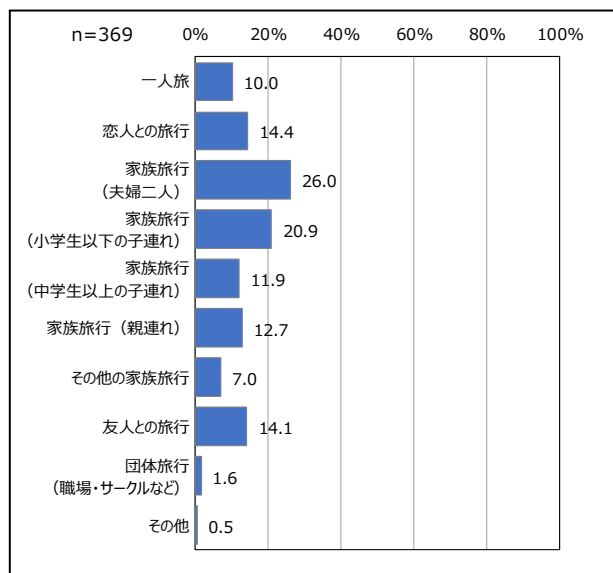
図Ⅱ-4-(3). 宿泊旅行時に他に訪問した都道府県（複数回答）



(4) 宿泊旅行の同行者

✧ 宿泊旅行の同行者は、「家族旅行（夫婦二人）」（26.0%）が最も多く、次いで「家族旅行（小学生以下の子連れ）」（20.9%）、「恋人との旅行」（14.4%）、「友人との旅行」（14.1%）、「家族旅行（親連れ）」（12.7%）となっている。

図Ⅱ-4-(4). 宿泊旅行の同行者（複数回答）

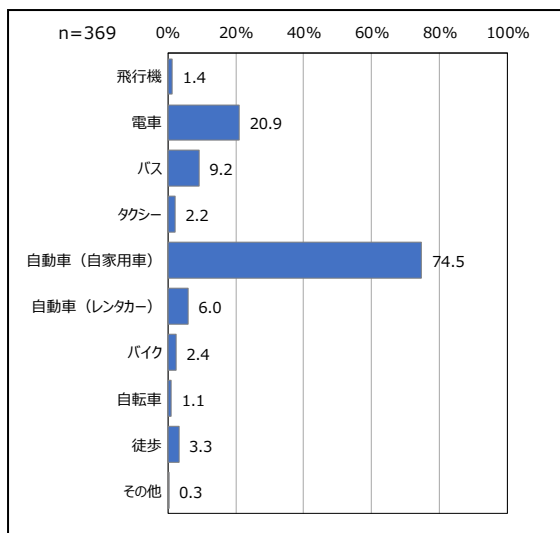


(5) 宿泊旅行時の交通手段

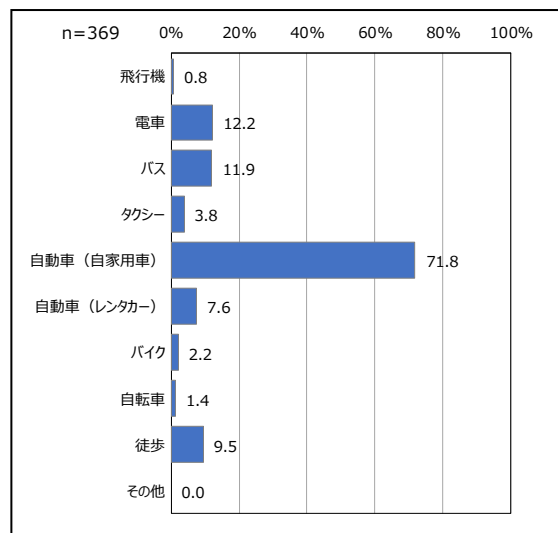
✧ 宿泊旅行時に用いた交通手段は、旅行先までの移動および現地観光時の移動のいずれも「自動車（自家用車）」が最も多くなっており、7割を超えている。そのほか、旅行先までの移動では、「電車」（20.9%）や「バス」（9.2%）を利用している。現地観光時の移動では、「電車」（12.2%）や「バス」（11.9%）、「徒歩」（9.5%）、「自動車（レンタカー）」（7.6%）を利用している。

図Ⅱ-4-(5). 宿泊旅行時の交通手段（複数回答）

【旅行先までの移動】



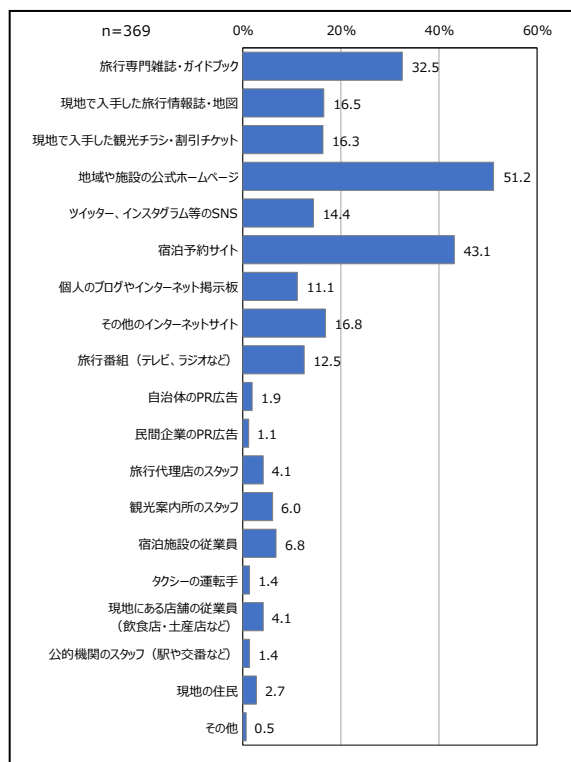
【現地観光時の移動】



(6) 宿泊旅行に関する情報入手方法

- ✧ 宿泊旅行に関する情報入手方法は、「地域や施設の公式ホームページ」(51.2%) が最も多く、次いで「宿泊予約サイト」(43.1%)、「旅行専門雑誌・ガイドブック」(32.5%)、「その他のインターネットサイト」(16.8%)、「現地で入手した旅行情報誌・地図」(16.5%) となっている。
- ✧ 地域や施設の公式ホームページや宿泊予約サイトなどのインターネットサイトが中心であるものの、旅行専門雑誌などの書籍から事前に情報収集するほか、現地で入手できる情報誌やチラシからも地域の情報を得ていると考えられる。

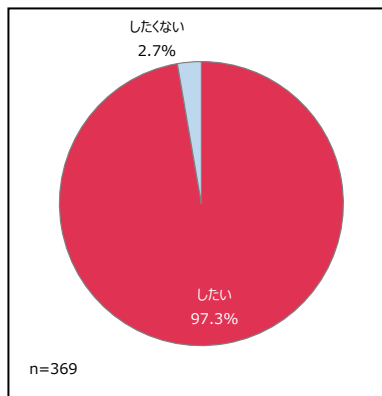
図Ⅱ-4-(6). 宿泊旅行に関する情報入手方法（複数回答）



(7) 宿泊旅行の再訪意向

- ✧ 栃木県への宿泊旅行の経験がある方の再訪意向（宿泊旅行）は、「したい」が 97.3%と非常に多くなっている。

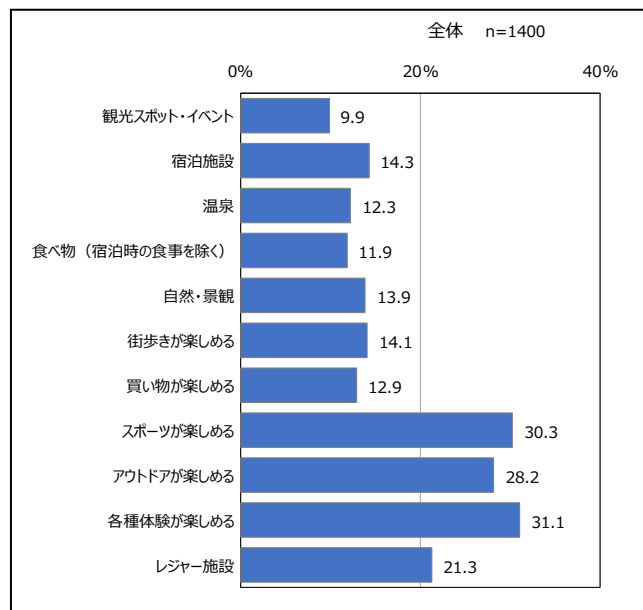
図Ⅱ-4-(7). 宿泊旅行の再訪意向（単一回答）



5. 旅行先として栃木県より魅力を感じる都県

- ☆ 他県に比べ栃木県が最も魅力的な項目を聞いたところ、「各種体験が楽しめる」(31.1%)が最も多く、次いで「スポーツが楽しめる」(30.3%)、「アウトドアが楽しめる」(28.2%)、「レジャー施設」(21.3%)となっている。
- ☆ 各種体験、アウトドア、スポーツなどは、栃木県の魅力であると認識されているにもかかわらず、日帰り旅行や宿泊旅行の動機につながっていない可能性がある。

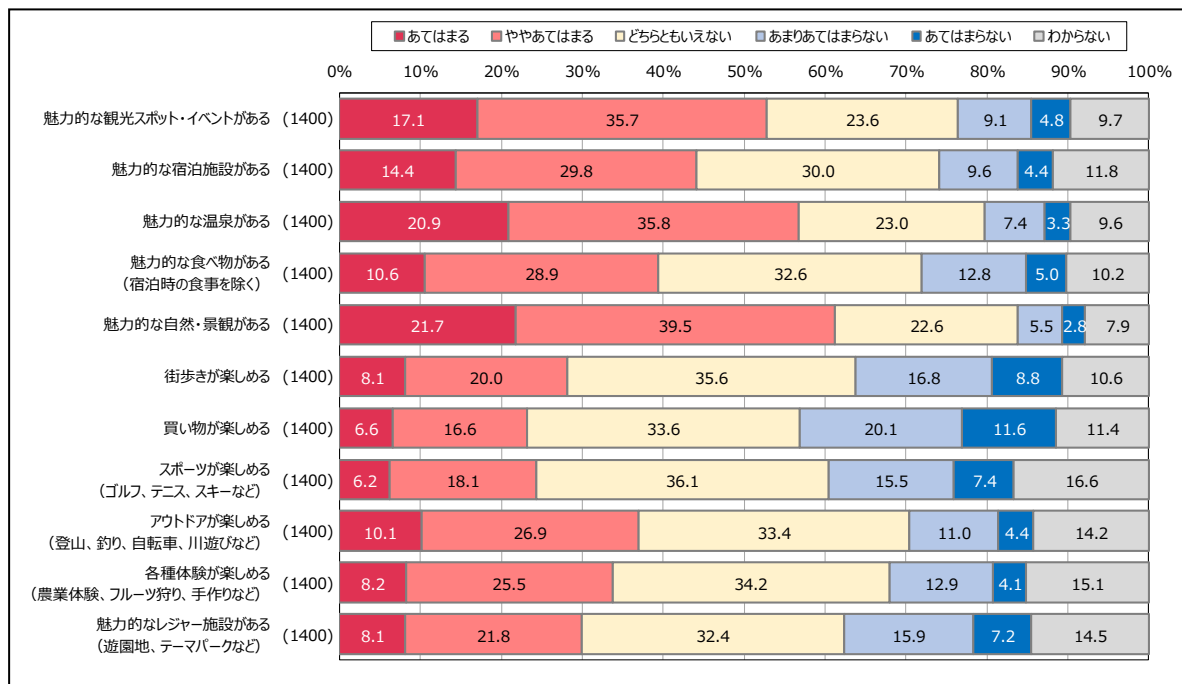
図Ⅱ-5. 他県に比べ栃木県が最も魅力的な項目（全体、年代別）（単一回答）



6. 栃木県の観光地のイメージ

- ☆ 栃木県の観光地のイメージは、「あてはまる」と「ややあてはまる」の合計でみると、「魅力的な自然・景観がある」(61.2%) が最も多く、次いで「魅力的な温泉がある」(56.7%)、「魅力的な観光スポット・イベントがある」(52.8%) となっている。
- ☆ 一方、「あてはまらない」と「あまりあてはまらない」の合計でみると、「買い物が楽しめる」(31.7%) が最も多く、次いで「街歩きが楽しめる」(25.6%)、「魅力的なレジャー施設がある」(23.1%) となっている。

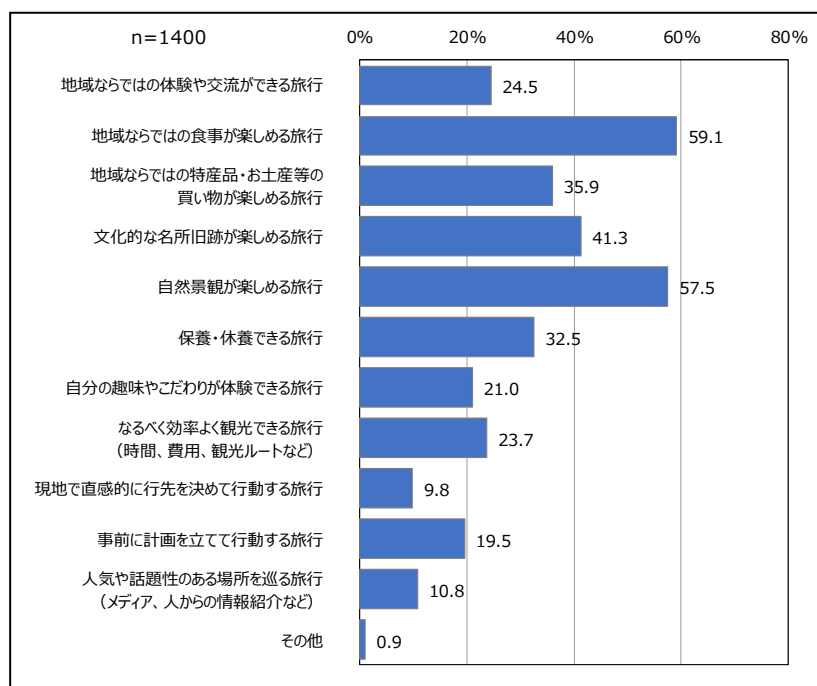
図Ⅱ-6. 栃木県の観光地のイメージ（単一回答）



7. 旅行に対する価値観

- ✧ 旅行を検討する際にどのような旅行がしたいか、旅行に対する価値観を尋ねたところ、「地域ならではの食事が楽しめる旅行」(59.1%)が最も多く、次いで「自然景観が楽しめる旅行」(57.5%)、「文化的な名所旧跡が楽しめる旅行」(41.3%)、「地域ならではの特産品・お土産等の買い物が楽しめる旅行」(35.9%)、「保養・休養できる旅行」(32.5%)となっている。
- ✧ 地域ならではの食事や特産品を楽しみ、自然景観や文化的な名所旧跡に触れ、保養・休養できるような旅行をしたいと考える人が多い傾向にある。

図Ⅱ-7. 旅行に対する価値観（複数回答）



Ⅲ. 遠方都市居住者の調査結果

※調査対象

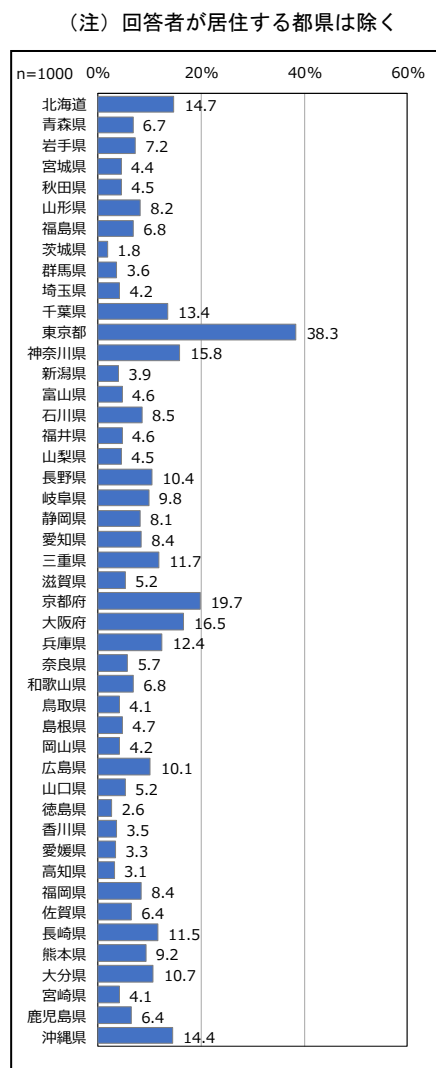
遠方都市居住者：5都市×200サンプル＝1,000サンプル
(札幌市、仙台市、名古屋市、大阪市、福岡市)

1. 栃木県以外への宿泊旅行（3年以内）

(1) 宿泊旅行地域

✧ 栃木県以外への宿泊旅行（3年以内）の地域をみると、「東京都」(38.3%)が最も多く、次いで「京都府」(19.7%)、「大阪府」(16.5%)、「神奈川県」(15.8%)、「北海道」(14.7%)、「沖縄県」(14.4%)、「千葉県」(13.4%)となっている。

図Ⅲ-1-(1). 栃木県以外への宿泊旅行地域（複数回答）



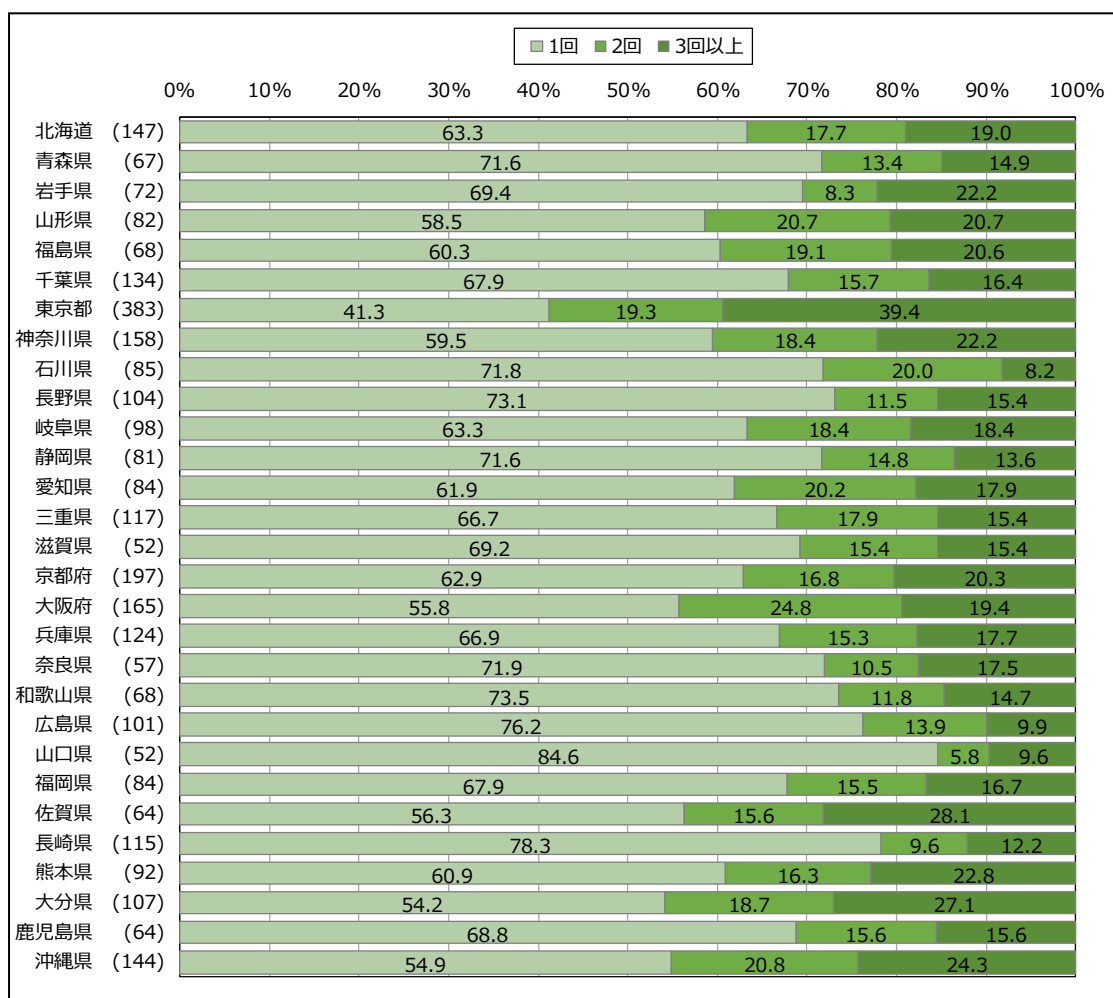
(注) 今回の調査で遠方都市居住者とは、札幌市、仙台市、名古屋市、大阪市、福岡市の5都市の居住者のこと。

(2) 地域別訪問回数

- ◇ 栃木県以外への宿泊旅行（3年以内）の地域の訪問回数について、「2回」と「3回以上」の合計でみると、「東京都」が最も多く（58.7%）、次いで「大分県」（45.8%）、「沖縄県」（45.1%）、「大阪府」（44.2%）、「佐賀県」（43.7%）、「山形県」（41.4%）、「神奈川県」（40.6%）、「福島県」（39.7%）となっている。
- ◇ 「3回以上」でみても「東京都」（39.4%）が最も多くなっており、「東京都」のリピーター率の高さが窺える。

図Ⅲ-1-(2). 地域別宿泊旅行回数（n＝50以上）（単一回答）

（注）回答者が居住する都県は除く

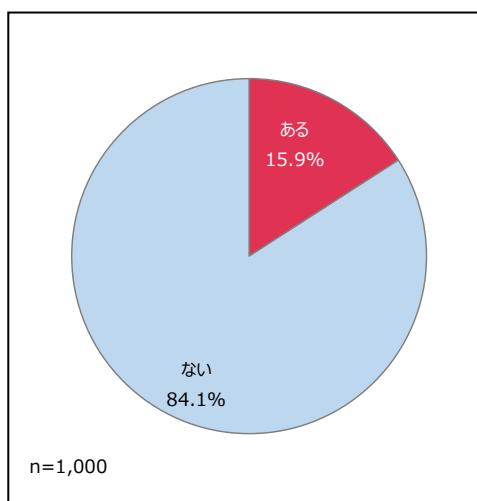


2. 栃木県への訪問（3年以内）

（1）栃木県への訪問の有無

☆ 栃木県への観光目的での訪問（3年以内）は、「ある」が 15.9%、「ない」が 84.1%となった。

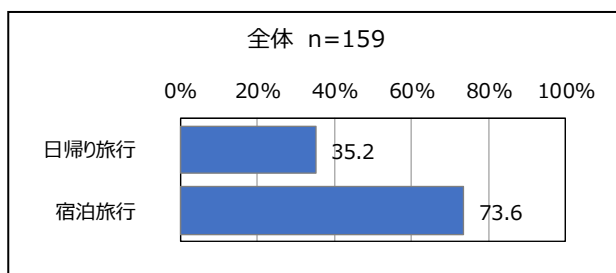
図Ⅲ-2-(1). 栃木県への訪問の有無（単一回答）



（2）栃木県への日帰り・宿泊旅行の有無

☆ 栃木県への日帰り旅行・宿泊旅行（3年以内）の有無は、「日帰り旅行」が 35.2%、「宿泊旅行」が 73.6%となった。

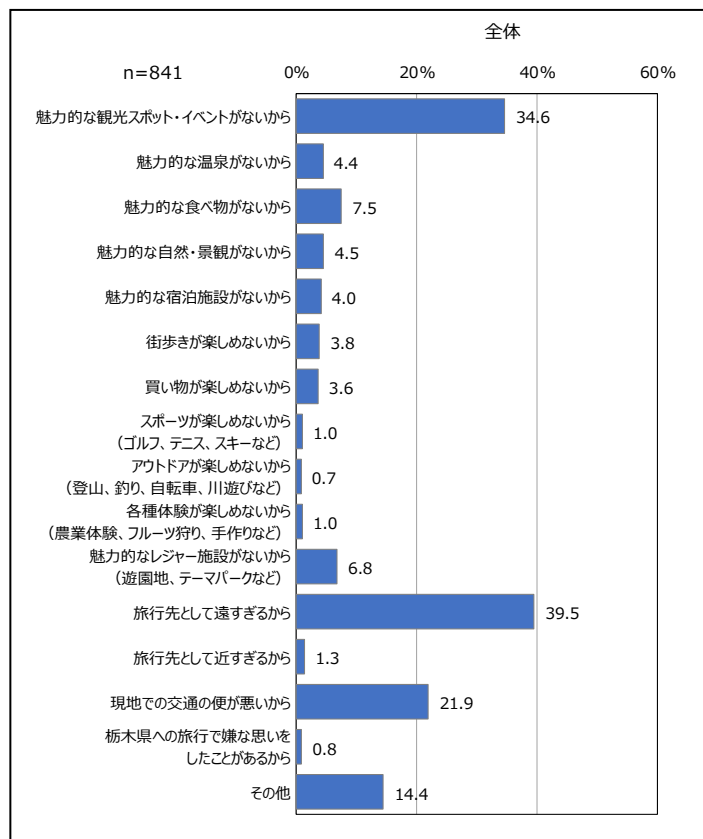
図Ⅲ-2-(2). 栃木県への日帰り旅行・宿泊旅行の有無（単一回答）



(3) 栃木県へ訪問しなかった理由

✧ 栃木県へ観光目的で訪問しなかった（３年以内）理由は、「旅行先として遠すぎるから」（39.5％）が最も多く、次いで「魅力的な観光スポット・イベントがないから」（34.6％）、「現地での交通の便が悪いから」（21.9％）となっている。

図Ⅲ-2-(3). 訪問しなかった理由（複数回答）

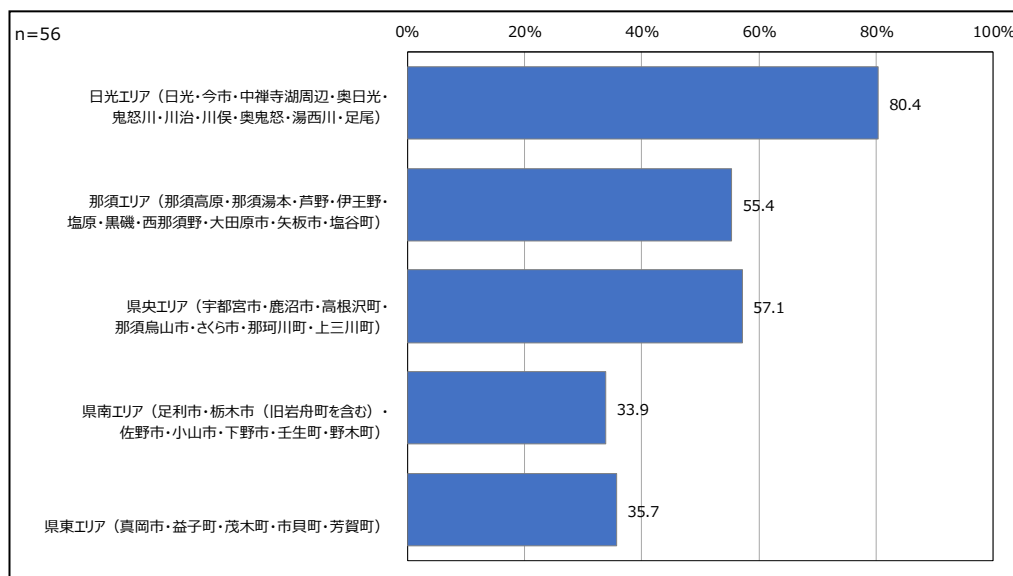


3. 栃木県への日帰り旅行（3年以内）

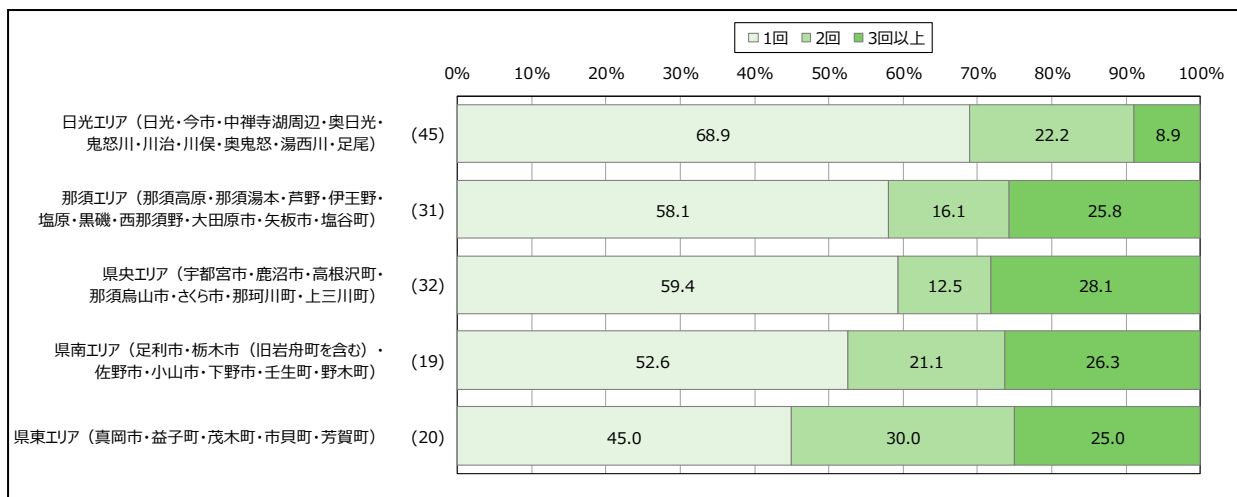
（1）日帰り旅行エリア

- ✧ 栃木県への日帰り旅行エリアをみると、「日光エリア」（80.4%）が最も多く、次いで「県央エリア」（57.1%）、「那須エリア」（55.4%）となっている。
- ✧ エリア別の日帰り旅行の回数について、「2回」と「3回以上」の合計でみると、「県東エリア」（55.0%）と「県南エリア」（47.4%）が多くなっている。

図Ⅲ-3-(1)-7. 日帰り旅行のエリア（複数回答）



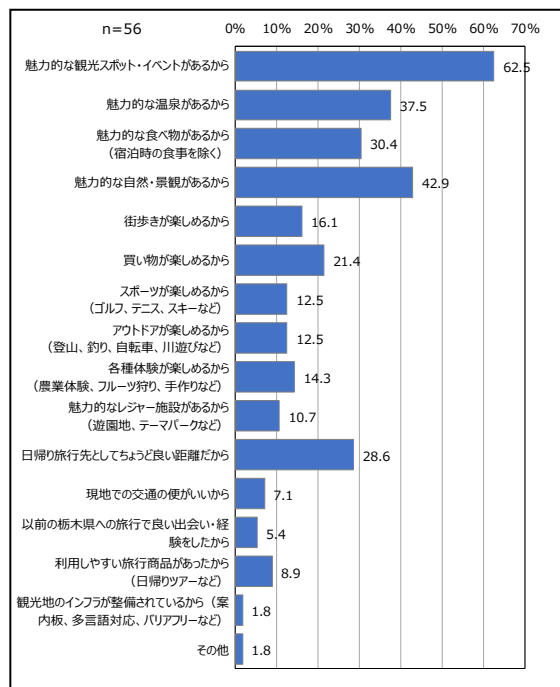
図Ⅲ-3-(1)-4. 日帰り旅行のエリア（回数）（単一回答）



(2) 日帰り旅行理由

✧ 栃木県への日帰り旅行をした理由は、「魅力的な観光スポット・イベントがあるから」(62.5%) が最も多く、次いで「魅力的な自然・景観があるから」(42.9%)、「魅力的な温泉があるから」(37.5%)、「魅力的な食べ物があるから」(30.4%)、「日帰り旅行先としてちょうど良い距離だから」(28.6%)、となっている。

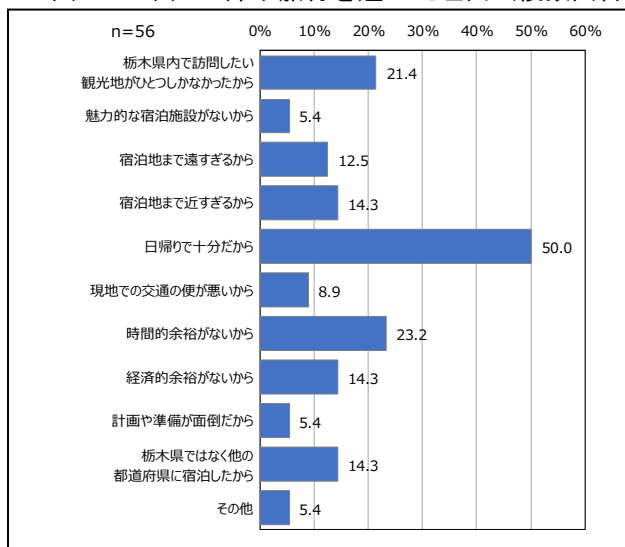
図Ⅲ-3-(2). 栃木県への日帰り旅行をした理由（複数回答）



(3) 宿泊旅行ではなく、日帰り旅行を選んだ理由

✧ 宿泊旅行ではなく、日帰り旅行を選んだ理由は、「日帰りで十分だから」(50.0%) が最も多く、次いで「時間的余裕がないから」(23.2%)、「栃木県内で訪問したい観光地がひとつしかなかったから」(21.4%) となっている。

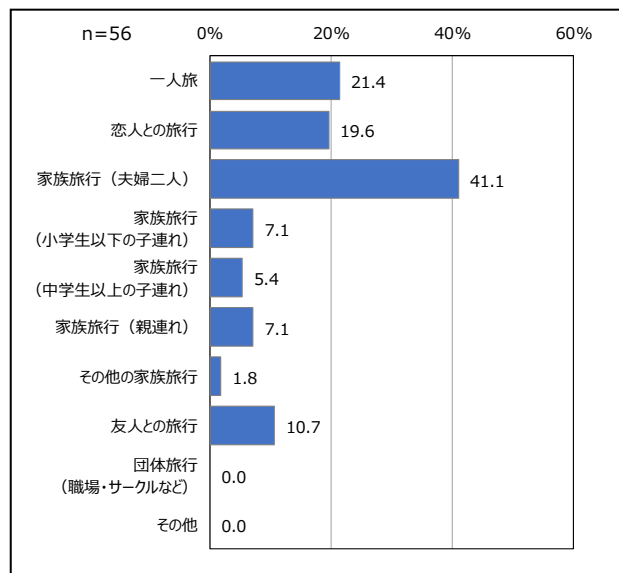
図Ⅲ-3-(3). 日帰り旅行を選んだ理由（複数回答）



(4) 日帰り旅行の同行者

☆ 日帰り旅行の同行者は、「家族旅行（夫婦二人）」（41.1%）が最も多く、次いで「一人旅」（21.4%）、「恋人との旅行」（19.6%）、「友人との旅行」（10.7%）、「家族旅行（小学生以下の子連れ）」および「家族旅行（親連れ）」（7.1%）、となっている。

図Ⅲ-3-(4). 日帰り旅行の同行者（複数回答）

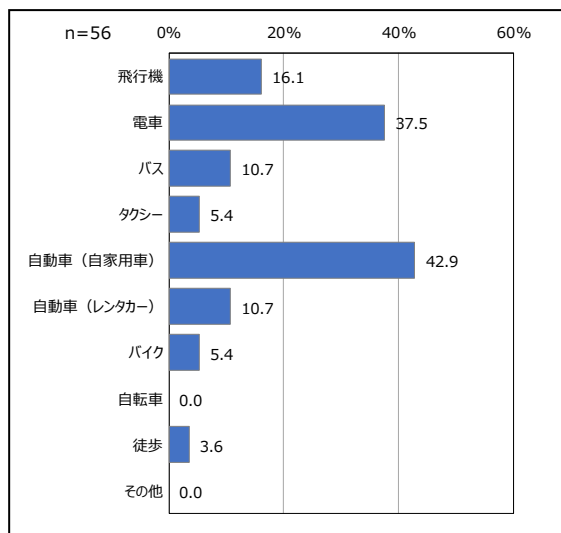


(5) 日帰り旅行時の交通手段

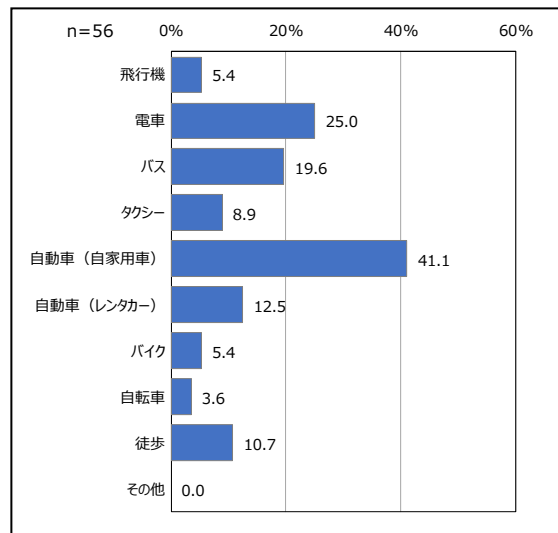
☆ 日帰り旅行時に用いた交通手段は、旅行先までの移動および現地観光時の移動のいずれも「自動車（自家用車）」が最も多くなっており、4割を超えている。そのほか、旅行先までの移動では、「電車」（37.5%）、「飛行機」（16.1%）が多くなっている。現地観光時の移動では、「電車」（25.0%）や「バス」（19.6%）、「自動車（レンタカー）」（12.5%）が多くなっている。

図Ⅲ-3-(5). 日帰り旅行時の交通手段（複数回答）

【旅行先までの移動】



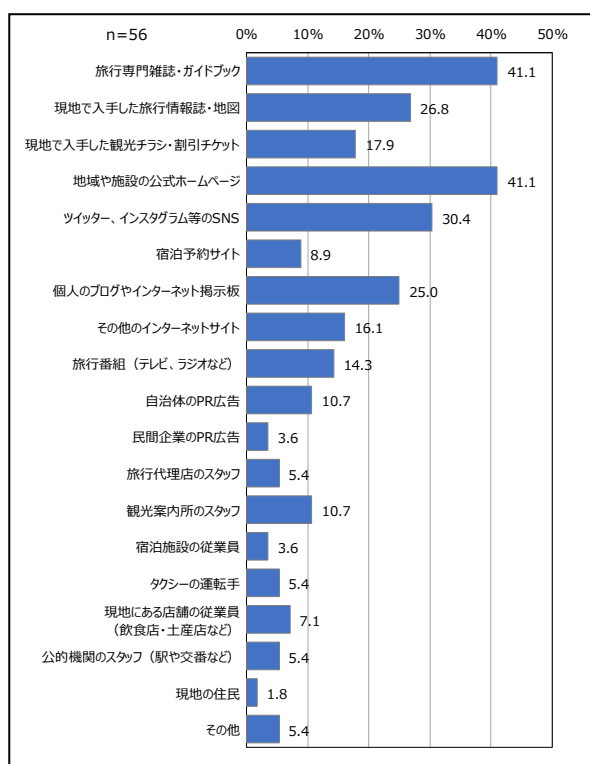
【現地観光時の移動】



(6) 日帰り旅行に関する情報入手方法

- ✧ 日帰り旅行に関する情報入手方法は、「旅行専門雑誌・ガイドブック」および「地域や施設の公式ホームページ」(41.1%) が最も多く、次いで「ツイッター、インスタグラム等の SNS」(30.4%)、「現地で入手した旅行情報誌・地図」(26.8%)、「個人のブログやインターネット掲示板」(25.0%)、「現地で入手した観光チラシ・割引チケット」(17.9%) となっている。
- ✧ 地域や施設の公式ホームページや SNS などのインターネットや、旅行専門雑誌などの書籍から幅広く情報を得ており、現地でもその場で入手できる地域の情報を参考にしていると考えられる。

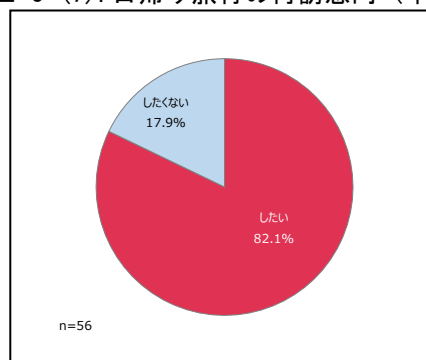
図Ⅲ-3-(6). 日帰り旅行に関する情報入手方法（複数回答）



(7) 日帰り旅行の再訪意向

- ✧ 栃木県への日帰り旅行の経験がある方の再訪意向（日帰り旅行）は、「したい」が 82.1% と多くなっている。

図Ⅲ-3-(7). 日帰り旅行の再訪意向（単一回答）

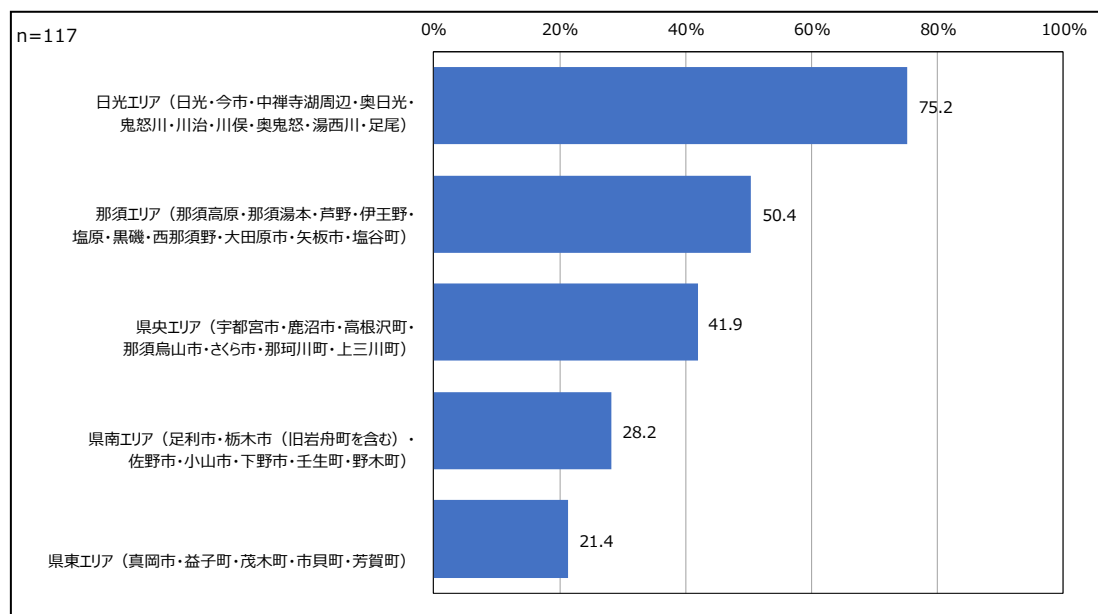


4. 栃木県への宿泊旅行（3年以内）

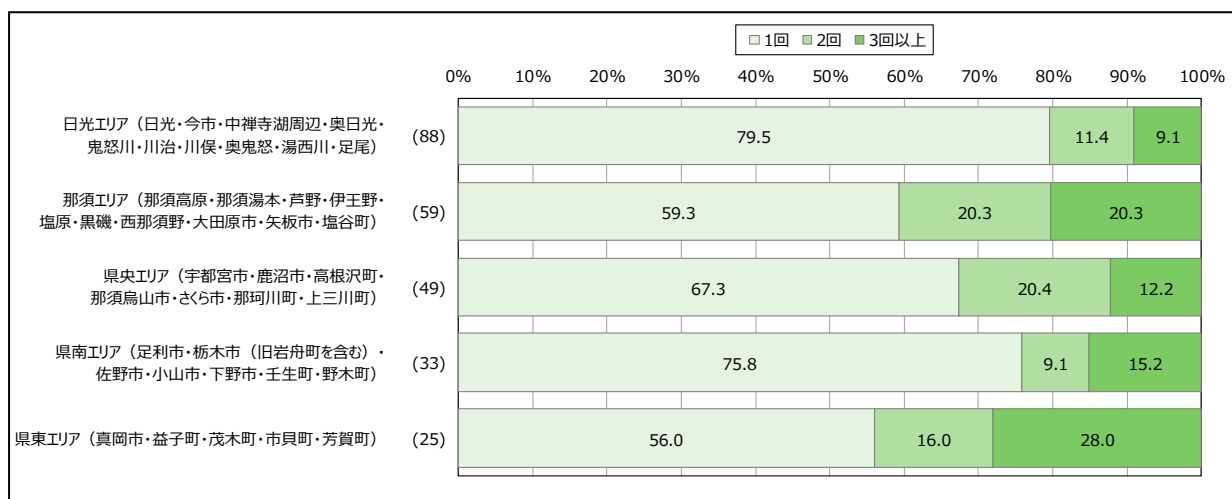
（1）宿泊旅行エリア

- ☆ 栃木県への宿泊旅行エリアをみると、「日光エリア」（75.2%）、「那須エリア」（50.4%）が多くなっている。
- ☆ エリア別の宿泊旅行の回数について、「2回」と「3回以上」の合計でみると、「県東エリア」（44.0%）と「那須エリア」（40.6%）が多くなっている。

図Ⅲ-4-(1)-7. 宿泊旅行のエリア（複数回答）



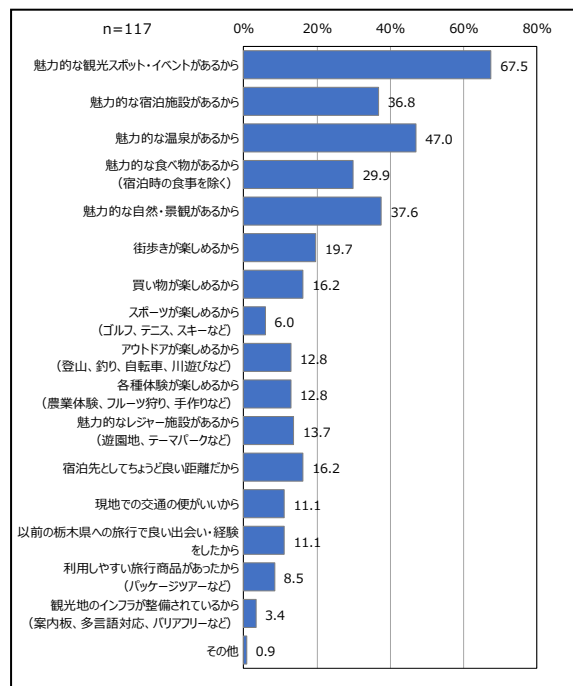
図Ⅲ-4-(1)-4. 宿泊旅行のエリア（回数）（単一回答）



(2) 宿泊旅行理由

✧ 栃木県への宿泊旅行を決めた理由は、「魅力的な観光スポット・イベントがあるから」(67.5%) が最も多く、次いで「魅力的な温泉があるから」(47.0%)、「魅力的な自然・景観があるから」(37.6%)、「魅力的な宿泊施設があるから」(36.8%)、「魅力的な食べ物があるから」(29.9%) となっている。

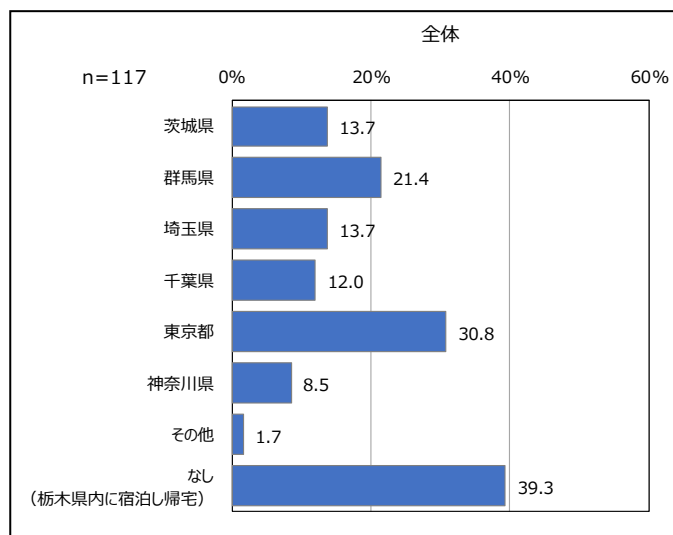
図Ⅲ-4-(2). 栃木県への宿泊旅行を決めた理由（複数回答）



(3) 他に訪問した都道府県

✧ 栃木県への宿泊旅行時に他に訪問した都道府県について尋ねたところ、「なし（栃木県内に宿泊し帰宅）」が 39.3% と最も多く、訪問した場合は「東京都」(30.8%) と「群馬県」(21.4%) が多くなっている。

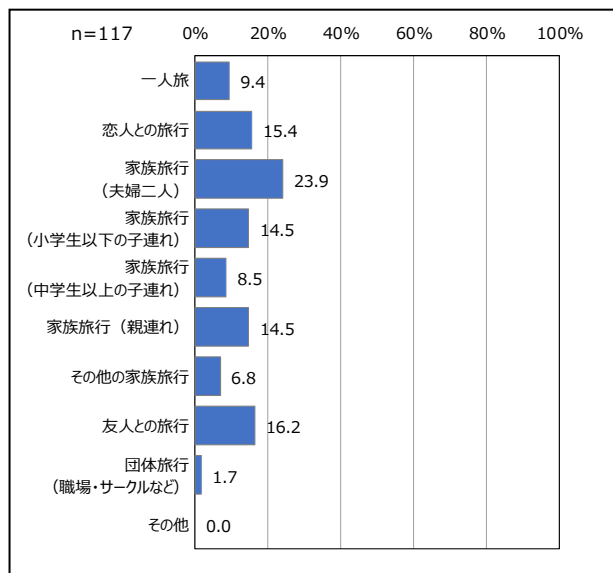
図Ⅲ-4-(3). 宿泊旅行時に他に訪問した都道府県（複数回答）



(4) 宿泊旅行の同行者

☆ 宿泊旅行の同行者は、「家族旅行（夫婦二人）」（23.9%）が最も多く、次いで「友人との旅行」（16.2%）、「恋人との旅行」（15.4%）、「家族旅行（小学生以下の子連れ）」および「家族旅行（親連れ）」（14.5%）となっている。

図Ⅲ-4-(4). 宿泊旅行の同行者（複数回答）

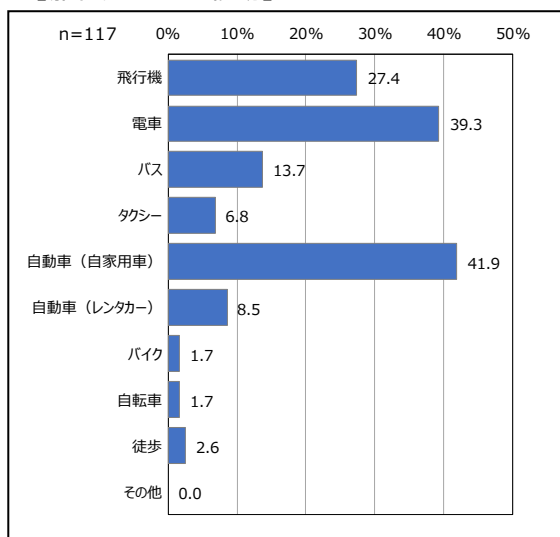


(5) 宿泊旅行時の交通手段

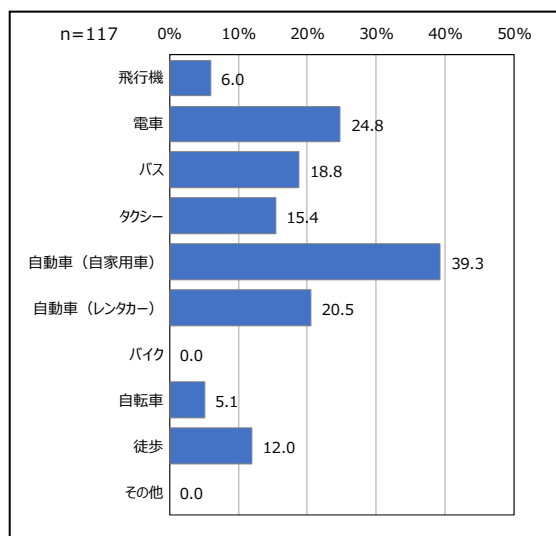
☆ 宿泊旅行時に用いた交通手段は、旅行先までの移動および現地観光時の移動のいずれも「自動車（自家用車）」が最も多くなっている。そのほか、旅行先までの移動では、「電車」（39.3%）、「飛行機」（27.4%）、「バス」（13.7%）を利用している。現地観光時の移動では、「電車」（24.8%）、「自動車（レンタカー）」（20.5%）、「バス」（18.8%）などを利用している。

図Ⅲ-4-(5). 宿泊旅行時の交通手段（複数回答）

【旅行先までの移動】



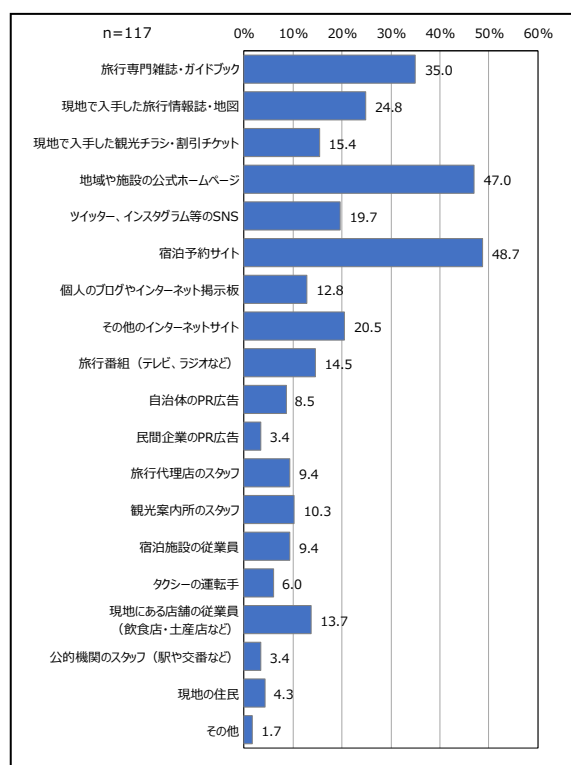
【現地観光時の移動】



(6) 宿泊旅行に関する情報入手方法

- ✧ 宿泊旅行に関する情報入手方法は、「宿泊予約サイト」(48.7%) が最も多く、次いで「地域や施設の公式ホームページ」(47.0%)、「旅行専門雑誌・ガイドブック」(35.0%)、「現地で入手した旅行情報誌・地図」(24.8%)、「その他のインターネットサイト」(20.5%)となっている。
- ✧ 地域や施設の公式ホームページや宿泊予約サイトを中心としたインターネットサイトや、旅行専門雑誌などの書籍から事前に情報収集するほか、現地で入手できる情報誌やチラシにより地域の情報を得ていると考えられる。

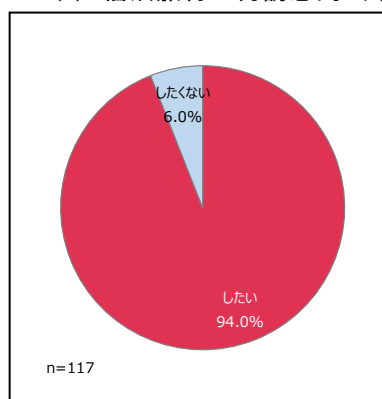
図Ⅲ-4-(6). 宿泊旅行に関する情報入手方法（複数回答）



(7) 宿泊旅行の再訪意向

- ✧ 栃木県への宿泊旅行の経験がある方の再訪意向（宿泊旅行）は、「したい」が 94.0%と非常に多くなっている。

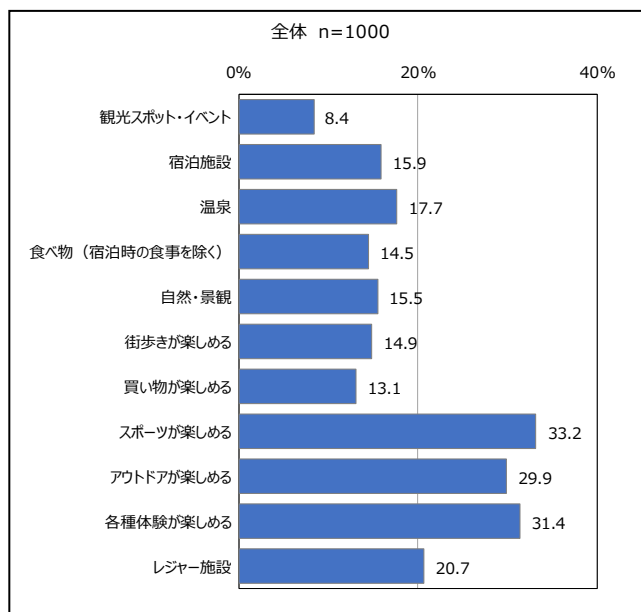
図Ⅲ-4-(7). 宿泊旅行の再訪意向（単一回答）



5. 旅行先として栃木県より魅力を感じる都県

- ☆ 他県に比べ栃木県が最も魅力的な項目を聞いたところ、「スポーツが楽しめる」(33.2%)が最も多く、次いで「各種体験が楽しめる」(31.4%)、「アウトドアが楽しめる」(29.9%)、「レジャー施設」(20.7%)となっている。
- ☆ 各種体験、アウトドア、スポーツなどは、栃木県の魅力であると認識されているにもかかわらず、日帰り旅行や宿泊旅行の動機につながっていない可能性がある。

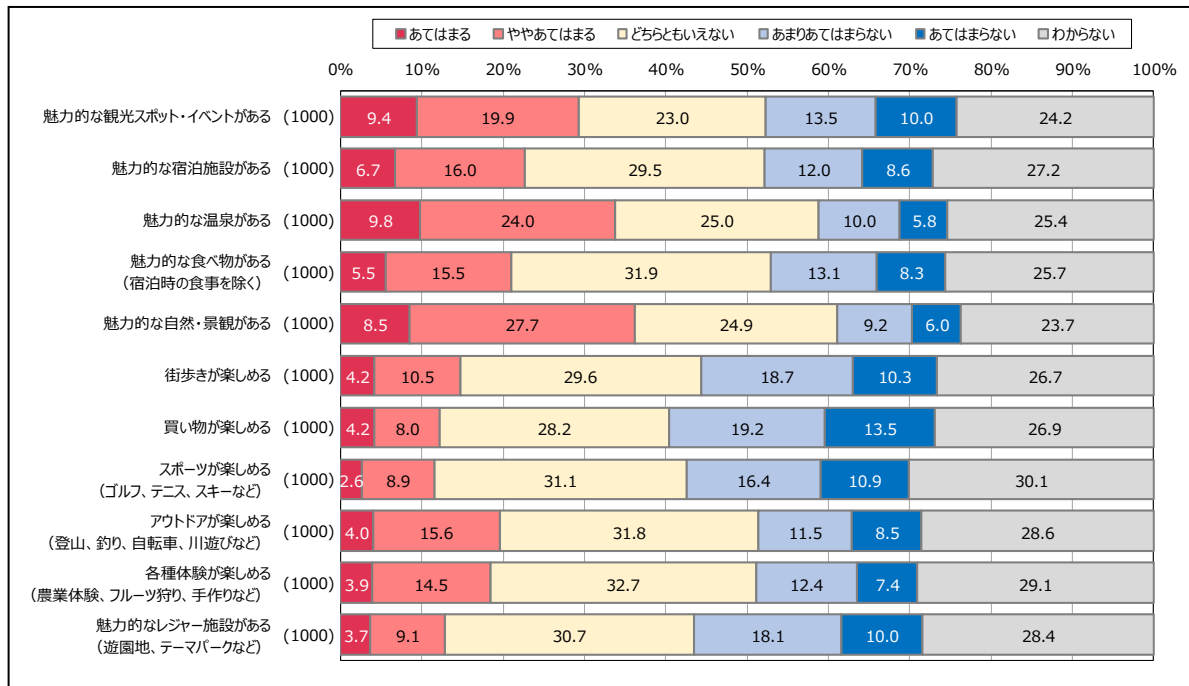
図Ⅲ-5. 他県に比べ栃木県が最も魅力的な項目（全体、年代別）（単一回答）



6. 栃木県の観光地のイメージ

- ☆ 栃木県の観光地のイメージは、「あてはまる」と「ややあてはまる」の合計でみると、「魅力的な自然・景観がある」(36.2%) が最も多く、次いで「魅力的な温泉がある」(33.8%)、「魅力的な観光スポット・イベントがある」(29.3%) となっている。
- ☆ 一方、「あてはまらない」と「あまりあてはまらない」の合計でみると、「買い物が楽しめる」(32.7%) が最も多く、次いで「街歩きが楽しめる」(29.0%)、「魅力的なレジャー施設がある」(28.1%) となっている。

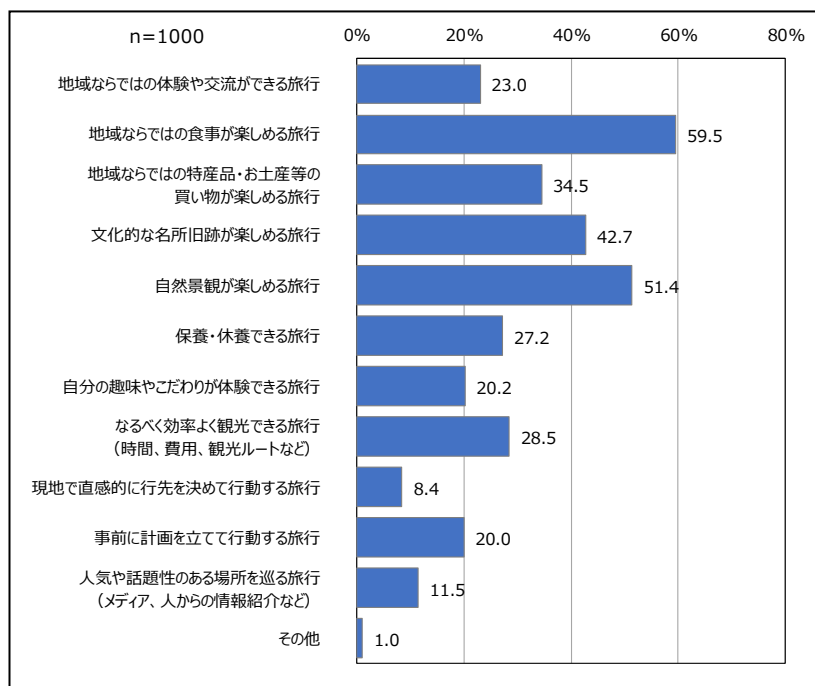
図Ⅲ-6. 栃木県の観光地のイメージ（単一回答）



7. 旅行に対する価値観

- ✧ 旅行を検討する際にどのような旅行がしたいか、旅行に対する価値観を尋ねたところ、「地域ならではの食事が楽しめる旅行」(59.5%)が最も多く、次いで「自然景観が楽しめる旅行」(51.4%)、「文化的な名所旧跡が楽しめる旅行」(42.7%)、「地域ならではの特産品・お土産等の買い物が楽しめる旅行」(34.5%)、「なるべく効率よく観光できる旅行」(28.5%)となっている。
- ✧ 地域ならではの食事や特産品を楽しみ、自然景観や文化的な名所旧跡に触れつつ、効率よく観光地を巡ることができる旅行をしたいと考える人が多い傾向にある。

図Ⅲ-7. 旅行に対する価値観（複数回答）



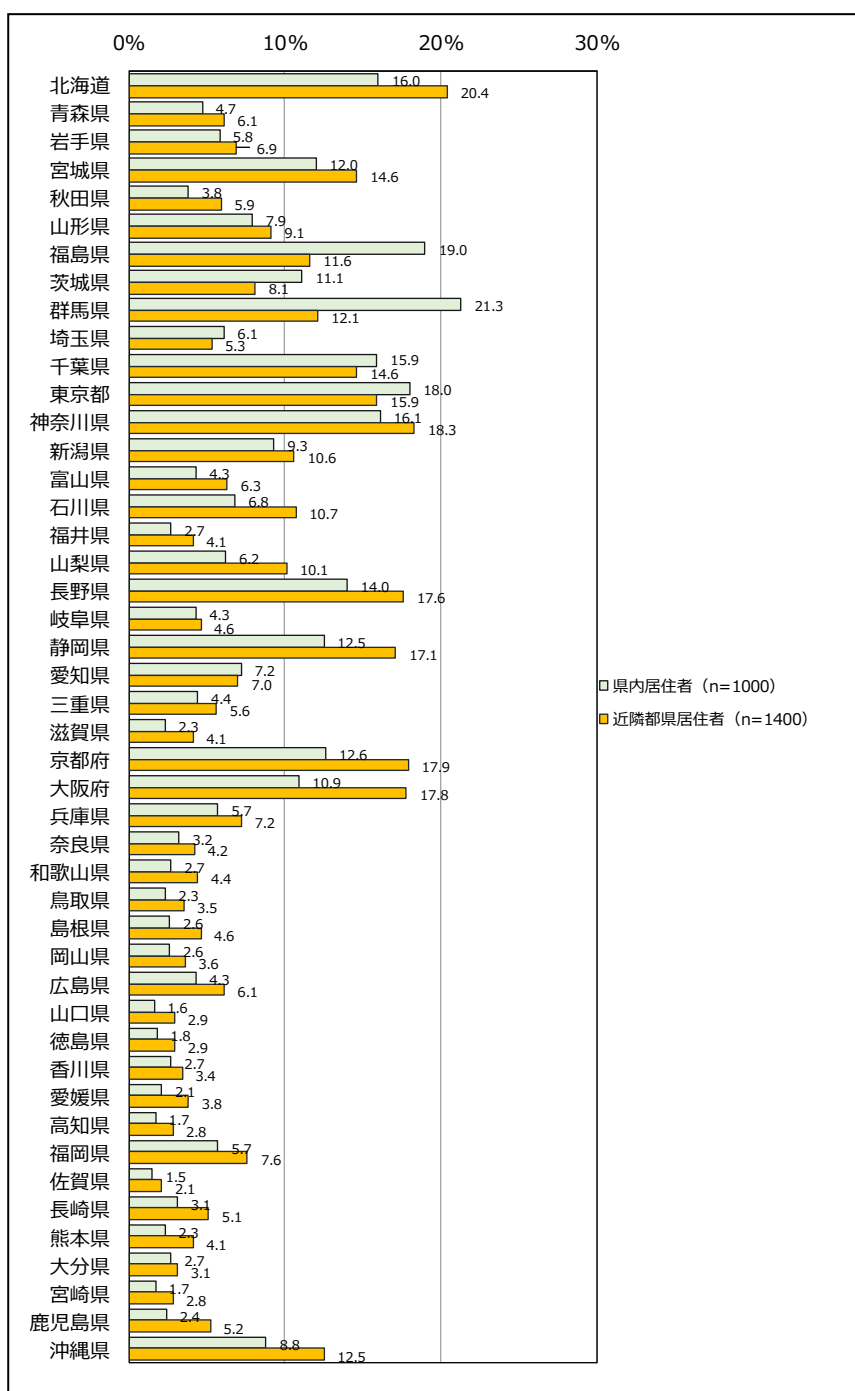
IV. 三調査の比較

1. 宿泊旅行地域

◇ 県内居住者と近隣都県居住者の栃木県以外の宿泊旅行地域（３年以内）を比較すると、県内居住者に比べて近隣都県居住者は「福島県」、「群馬県」等が少なく、「静岡県」、「京都府」、「大阪府」などが多くなっている。

図Ⅳ-1. 宿泊旅行地域（複数回答）

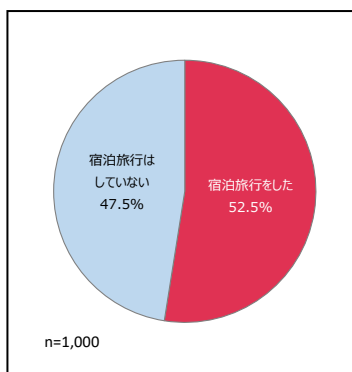
（注）回答者が居住する都県は除く



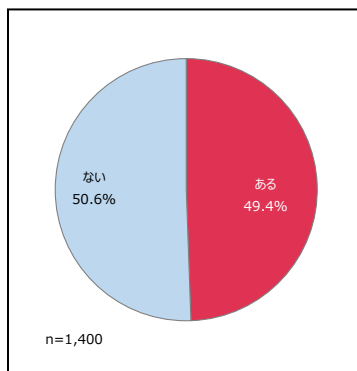
2. 本県への訪問、日帰り旅行と宿泊旅行の有無

- ✧ 県内居住者の県内での宿泊旅行（３年以内）の有無は、「宿泊旅行をした」が 52.5%となっている。
- ✧ 本県への訪問（３年以内）の有無は、近隣都県居住者では「ある」が 49.4%、遠方都市居住者では「ある」が 15.9%となった。
- ✧ 日帰り旅行と宿泊旅行（３年以内）の有無を比較すると、近隣都県居住者では「日帰り旅行」（61.6%）が「宿泊旅行」（53.3%）よりも多くなっている。遠方都市居住者では「宿泊旅行」（73.6%）が「日帰り旅行」（35.2%）よりも多くなっている。

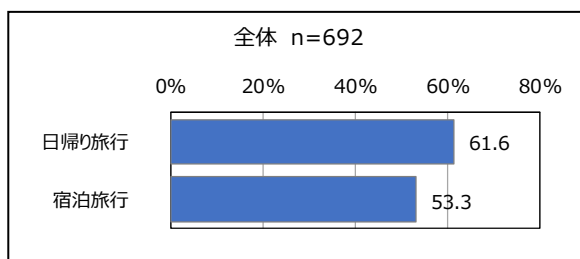
図Ⅳ-2-7. 栃木県内居住者の宿泊旅行の有無



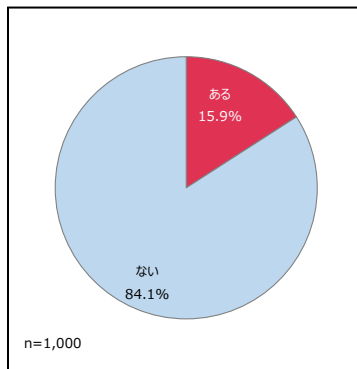
図Ⅳ-2-4. 近隣都県居住者の訪問の有無



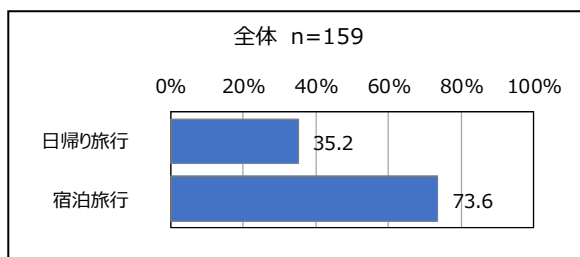
図Ⅳ-2-5. 近隣都県居住者の日帰り旅行・宿泊旅行の有無



図Ⅳ-2-1. 遠方都市居住者の訪問の有無



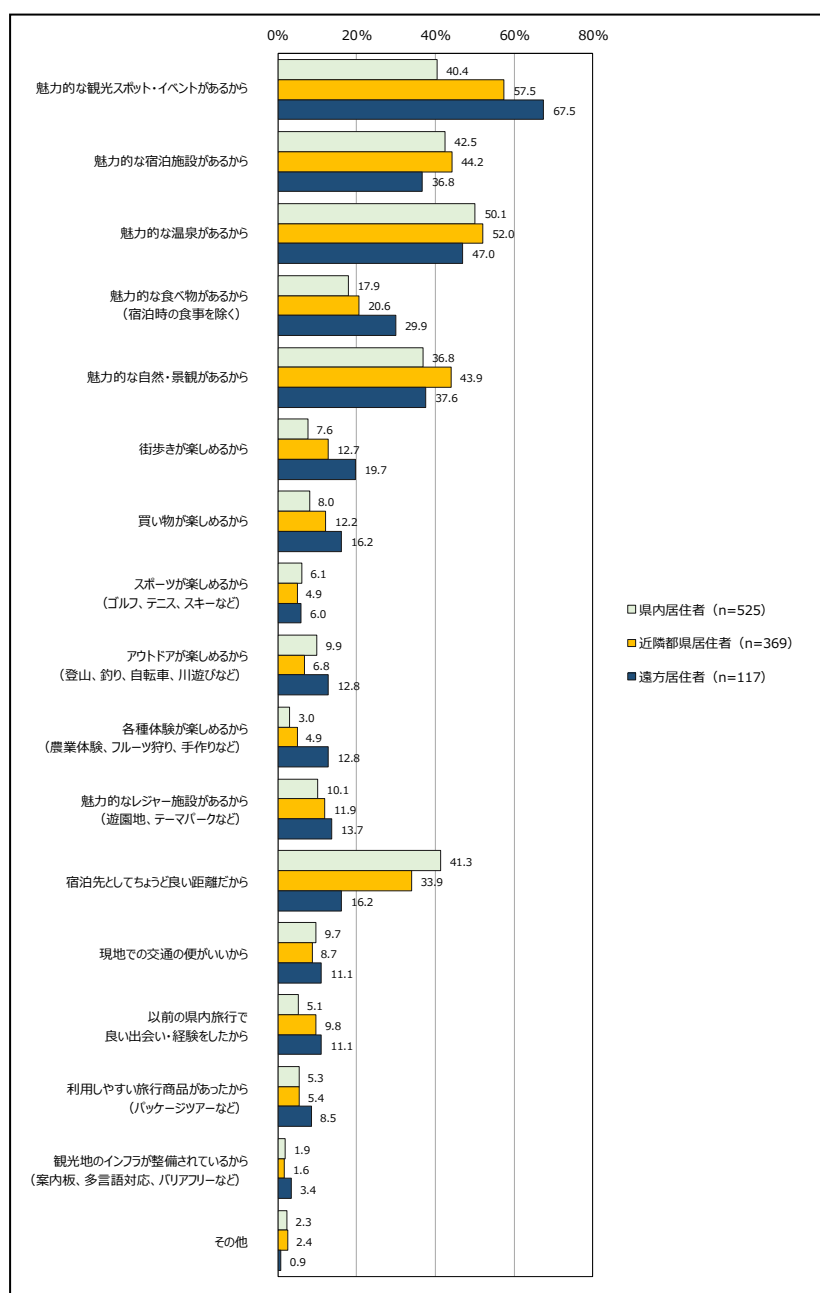
図Ⅳ-2-2. 遠方都市居住者の日帰り旅行・宿泊旅行の有無



3. 宿泊旅行を決めた理由

- ✧ 県内居住者が宿泊旅行先を県内に決めた理由と、近隣都県・遠方都市の居住者が本県への宿泊旅行を決めた理由を比較すると、「魅力的な観光スポット・イベントがある」では遠方都市居住者（67.5%）が最も多くなっており、距離が遠くなるほど観光スポット・イベントを重視する傾向にある。
- ✧ 一方、「宿泊先としてちょうど良い距離だから」では県内居住者（41.3%）が最も多くなっている。また、「魅力的な宿泊施設があるから」、「魅力的な温泉があるから」では県内居住者と近隣都県居住者がほぼ同水準で、遠方都市居住者が少なくなっている。他の項目と比較すると、「魅力的な自然・景観があるから」は居住地にかかわらず多くなっている。

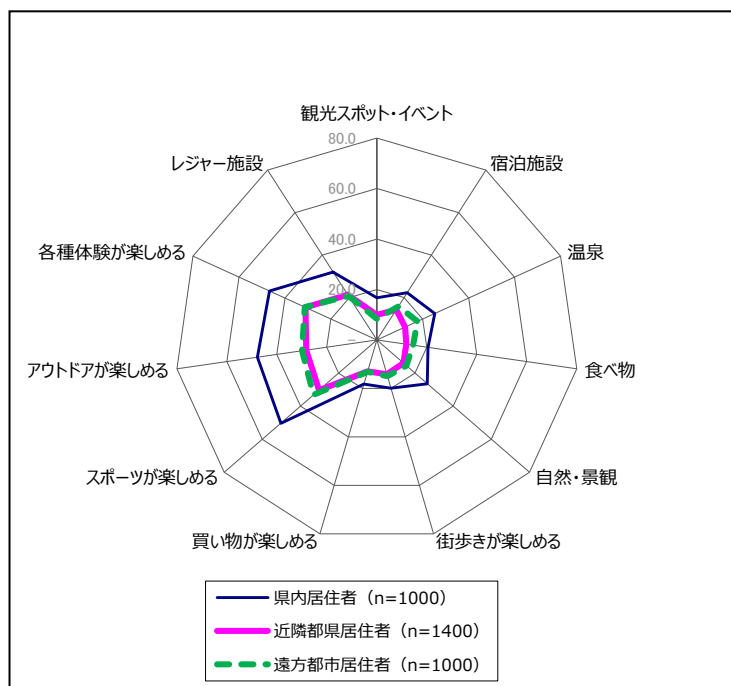
図Ⅳ-3. 本県への宿泊旅行、訪問を決めた理由（複数回答）



4. 旅行先として栃木県より魅力を感じる都県

☆ 11 の項目に関して、旅行先として栃木県より魅力を感じる都県を聞いたところ、「栃木県より魅力を感じる都県はない」と回答した割合は、全ての項目で県内居住者が上回っている。近隣都県居住者と遠方都市居住者と比較すると、ほぼ同じ傾向となっている。特に「スポーツが楽しめる」、「アウトドアが楽しめる」、「各種体験が楽しめる」では大きな差がある。

図Ⅳ-4. 「栃木県より魅力を感じる県はない」の比較

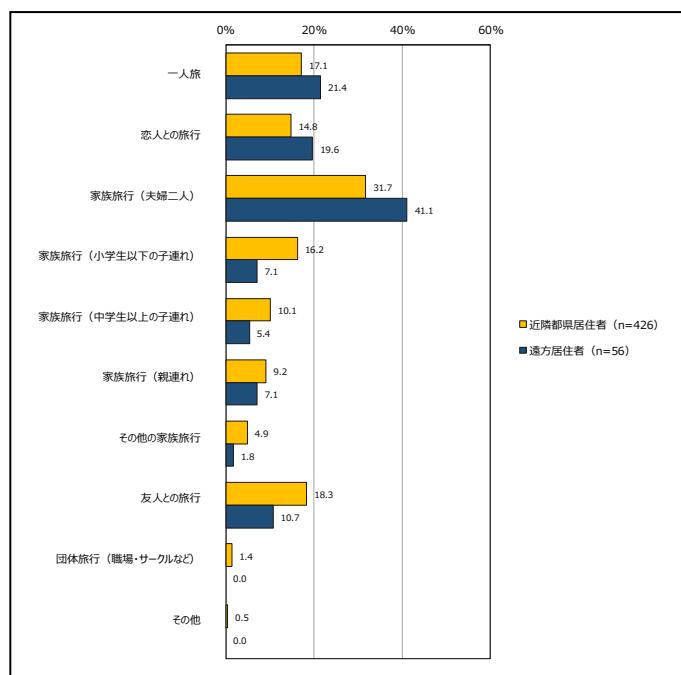


5. 旅行の同行者

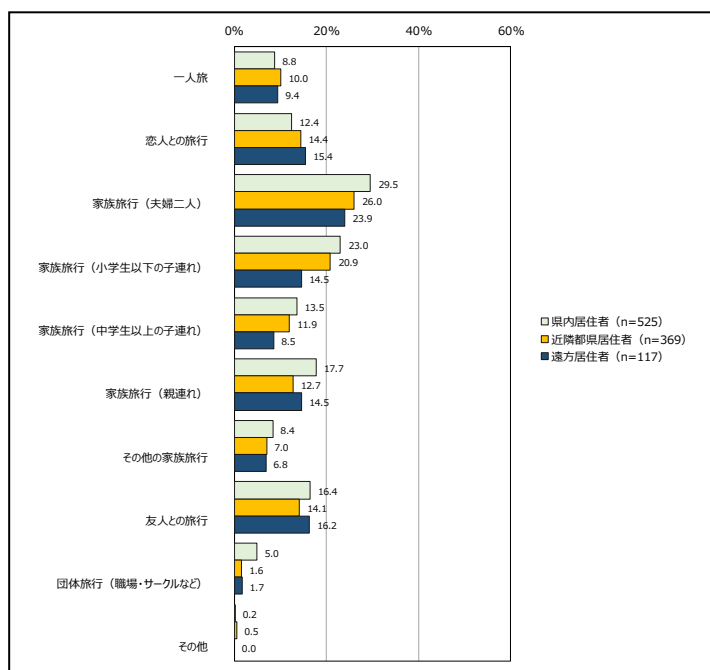
- ✧ 旅行の同行者について、日帰り旅行と宿泊旅行を比較すると、概ね同じ傾向となっている。
- ✧ 宿泊旅行の同行者をみると、「家族旅行（夫婦二人）」、「家族旅行（小学生以下の子連れ）」、「家族旅行（中学生以上の子連れ）」では距離が遠くなるほど少なくなる傾向にある。「家族旅行（親連れ）」、「友人との旅行」では遠方都市居住者がやや多くなっている。

図IV-5. 旅行の同行者の比較

【日帰り旅行】



【宿泊旅行】

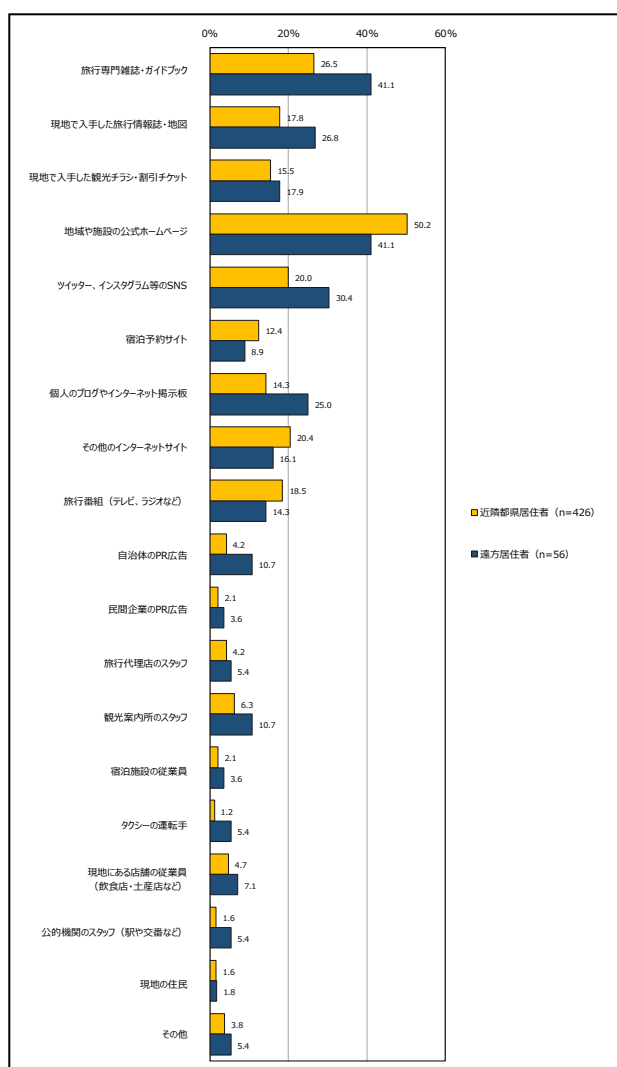


6. 旅行に関する情報入手方法

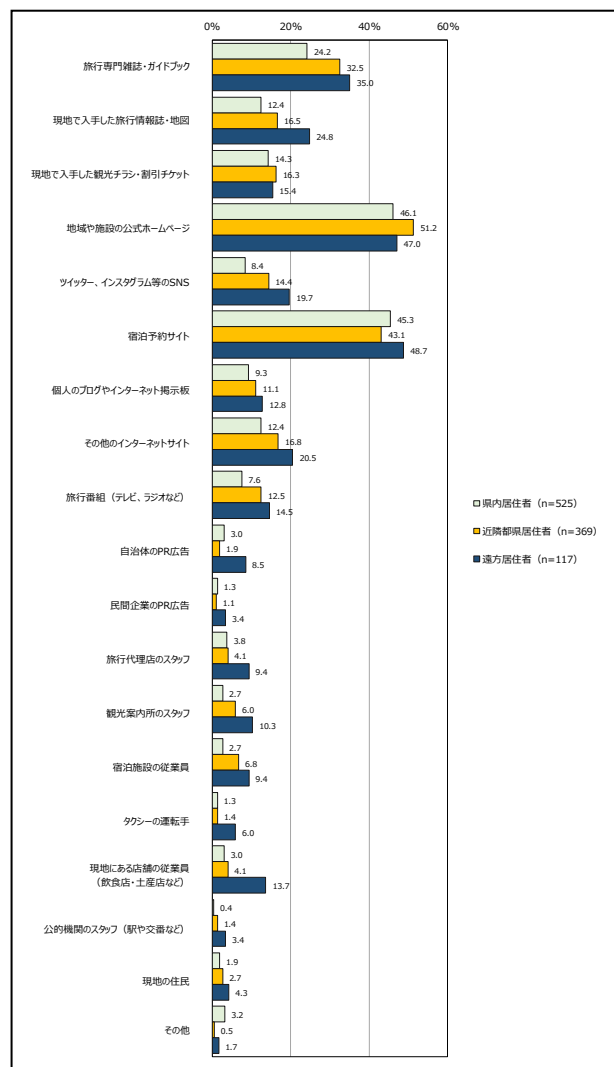
- ✧ 旅行に関する情報入手方法について、日帰り旅行と宿泊旅行を比較すると、概ね同じ傾向となっており、「地域や施設の公式ホームページ」、「宿泊予約サイト」、「旅行専門雑誌・ガイドブック」などが多くなっている。
- ✧ 宿泊旅行に関する情報入手方法をみると、「旅行専門雑誌・ガイドブック」では県内居住者よりも近隣都県・遠方都市居住者が比較的多くなっている。また、「現地で入手した旅行情報誌・地図」など現地で入手できる紙媒体や、「ツイッター、インスタグラム等のSNS」、「その他のインターネットサイト」などのインターネットを通じて情報を得る方法は、距離が遠くなるほど多くなる傾向にある。

図IV-6. 旅行に関する情報入手方法の比較

【日帰り旅行】



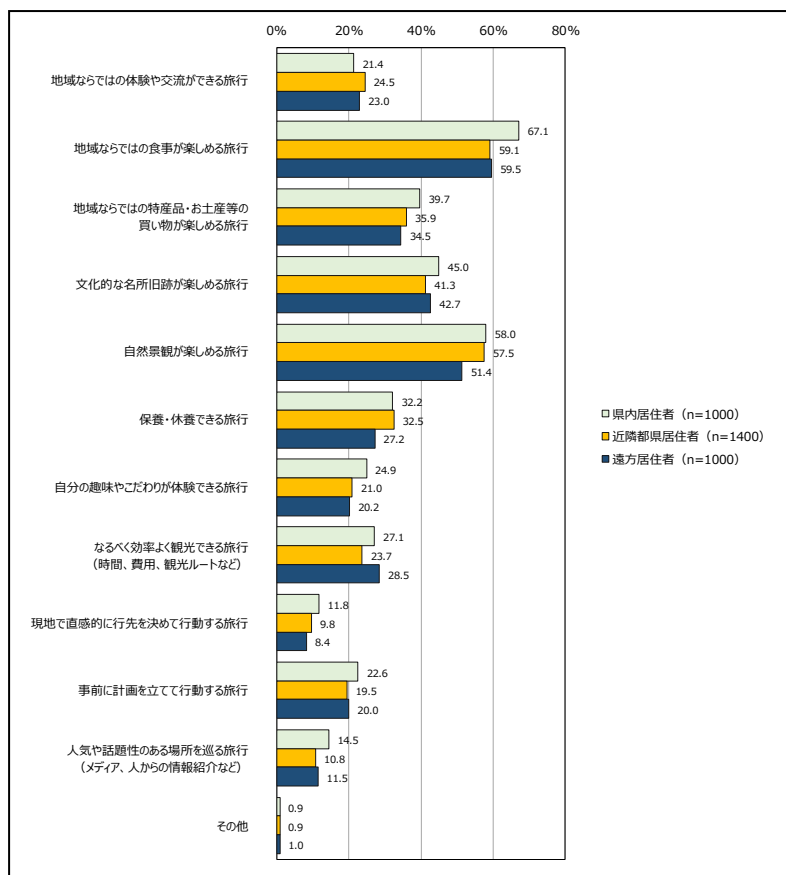
【宿泊旅行】



7. 旅行に対する価値観

☆ どのような旅行がしたいか、旅行に対する価値観について聞いたところ、居住地にかかわらず概ね同じ傾向を示しており、「地域ならではの食事が楽しめる旅行」や「自然景観が楽しめる旅行」、「文化的な名所旧跡が楽しめる旅行」などが多くなっている。「地域ならではの食事が楽しめる旅行」では近隣都県居住者がやや多く、「なるべく効率よく観光できる旅行」では遠方都市居住者がやや多くなっている。

図IV-7. 旅行に対する価値観の比較



8. 「栃木県観光を勧めたい項目」と「栃木県の観光地のイメージ」

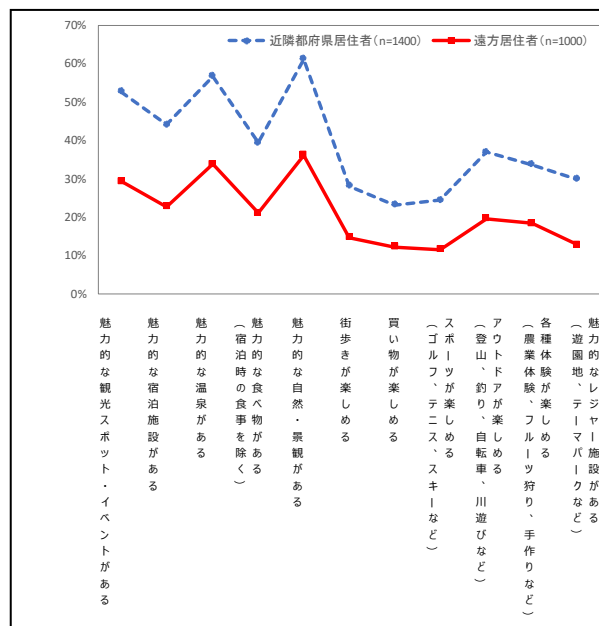
- ☆ 県内居住者の「栃木県観光を勧めたい項目」と、近隣都県・遠方都市居住者の「栃木県の観光地のイメージ」を比較すると、県内居住者が「栃木県観光を勧めたい項目」として割合の高い「魅力的な自然・景観がある」、「魅力的な温泉がある」、「魅力的な観光スポット・イベントがある」については、近隣都県・遠方都市居住者の「栃木県の観光地のイメージ」においても他の項目と比較すると高い割合となっており、県内居住者が本県観光の魅力と感じている項目と、県外の居住者が抱く本県の観光地のイメージが概ね一致する結果となった。
- ☆ 一方、県内居住者の約半数以上が「栃木県観光を勧めたい項目」とした「アウトドアが楽しめる」、「各種体験が楽しめる」、「魅力的な食べ物がある」、「スポーツが楽しめる」については、近隣都県・遠方都市居住者とも、前段の項目と比べると「栃木県の観光地のイメージ」の割合が低い傾向にあり、県内居住者が感じている魅力を、県外にさらにPRしていく必要があると考えられる。
- ☆ また、近隣都県と遠方都市居住者の「栃木県の観光地のイメージ」を比較すると、同じ傾向を示しているが、全ての項目で近隣都県に比べて遠方都市の方が低くなっている。

図IV-8-7 県内居住者の「栃木県観光を勧めたい項目」のランキング（n=1000）

順位	項目	%
1	魅力的な自然・景観がある	76.5
2	魅力的な温泉がある	75.3
3	魅力的な観光スポット・イベントがある	69.0
4	アウトドアが楽しめる(登山、釣り、自転車、川遊びなど)	63.5
5	魅力的な宿泊施設がある	60.2
6	各種体験が楽しめる(農業体験、フルーツ狩り、手作りなど)	56.1
7	魅力的な食べ物がある(宿泊時の食事を除く)	50.4
8	スポーツが楽しめる(ゴルフ、テニス、スキーなど)	47.8
9	魅力的なレジャー施設がある(遊園地、テーマパークなど)	41.0
10	街歩きが楽しめる	32.9
11	買い物ができる	25.5

※「栃木県観光を勧めたい項目」は「勧めたいと思う」と「やや勧めたいと思う」の合計。

図IV-8-4. 近隣都県居住者と遠方都市居住者の「栃木県の観光地のイメージ」の比較



※「栃木県の観光地のイメージ」は「あてはまる」と「ややあてはまる」の合計。